

2026

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾文化学科

1 年次（2026 年度生）

服飾造形基礎

水野 真由美

服飾文化学科 1年 前期 必修 (3単位 演習)

授業の方針・概要

服飾造形のスカートに関する製図方法と基礎的な知識や技術を修得する。

到達目標 (学修成果)

服飾造形の基本アイテムとしてスカートのパターンメイキング、縫製方法を学修し、制作プロセスを理解する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目、専門科目、服飾関係科目の初年次必修の演習科目、基本アイテムにおける服の構造を学修し、2年次以降へ繋げていく。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題によるが、14回目までに評価・解説のできるものは、授業内で返却する。小試験・レポート等の添削については、担当教員から、別途、返却の日程を伝達する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING、SEWING、電子教材

参考文献

図解服飾用語事典、その他 (必要に応じ授業、ポータルサイトで紹介)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー、研究室については、第1回目の授業に指示します。

備考

成績評価として、課題が未了の場合は、不合格とする。

進捗により、日程および内容を変更する場合もある。予習・復習の時間は必要に応じ増減すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修		必要時間
		具体的内容 (予習・復習等)		
1回 水野	オリエンテーション 連携授業の進め方 電子教材の活用 著作権について 実習用具・縫製機器の名称と使用方法 原型	予習 シラバスを読む 復習 本時の見直し		60分
2回 水野	スカート各種 名称・パターン説明 スカート(グループワーク)について ポートフォリオについて スカート製図	予習 スカートの種類、名称 生地を調べる 復習 遅滞箇所を行う		90分
3回 水野	布について ミシン基本操作:直線ミシン	予習 地直しについて 製図の確認 復習 作業内容の確認 遅滞箇所を行う		60分
4回 水野	ミシン基本操作:ロックミシン 手縫い:まつり縫い4種	予習 手縫いの名h層を調べておく 復習 遅滞箇所を行う		60分
5回 水野	基本製図:スカート製図 制作について	予習 印付けについて調べる 復習 遅滞箇所を行う		90分
6回 水野	スカトリサーチ発表 スカート実物制作 型紙作成 布裁断	予習 縫製方法を調べる 復習 遅滞箇所を行う		90分
7回 水野	スカート実物制作 表地縫製 小試験	予習 表地の縫製方法について電子教材閲覧 復習 遅滞箇所を行う		90分
8回 水野	スカート実物制作 表地縫製 裏地裁断	予習 裏地の機能について調べる 復習 遅滞箇所を行う		90分
9回 水野	スカート実物制作 裏地縫製	予習 裏地の縫製方法を読んでおく 復習 遅滞箇所を行う		90分
10回 水野	スカート実物制作 スカートのあきの始末について	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う		90分
11回 水野	スカート実物制作 あきの始末	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う		90分
12回 水野	スカート実物制作 ベルト作り・付け	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う		90分
13回 水野	スカート実物制作 シループ カギホック 仕上げ	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う		90分
14回 水野	応用製図 スカート縫製方法のまとめ	予習 スカートの種類、製図をみておく 復習 遅滞箇所を行う		90分
15回 水野	スカート縫製評価 小試験 プレゼンテーション まとめ	予習 プレゼンテーション準備 復習 フィードバックされたものを確認する		120分

サステナブル・ファッション概論

梅谷 知世、鈴木 桜子、井口 多恵子、菅野 ももこ

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

近年、私たちの社会や暮らしにおいて、「サステナブル」な考えや行動が求められており、ファッション界においても最優先課題のひとつとなっている。

環境を守るファッションや人権に配慮し多様性を尊重するファッションを創造するために、そして服飾の歴史を伝え伝統を継承するために、私たちに何ができるのか。本講義では、ファッションにおけるサステナビリティについて、さまざまな視点から考え、ファッション界における今日的課題を解決するための基礎力を培う。

到達目標 (学修成果)

服飾文化学科で学ぶ4つの領域「歴史」「レプリカ・修復」「衣のものづくり」「サステナビリティ」の入門として基礎的知識を身につけていく。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科の必修科目で卒業要件科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業のテーマに応じて課されるレポートについては担当教員が添削やコメントを付して返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし。授業内容に応じて資料を配布します。

参考文献

授業内容に応じて紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

状況により、日程・内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷他	オリエンテーション (梅谷・鈴木・菅野・井口)	予習：シラバスの確認	30分
2回 鈴木	歴史・文化をいまに伝えるファッション (欧米)	復習：授業を振り返り、ファッションの創造について考える	30分
3回 鈴木	歴史・文化をいまに伝えるファッション (日本)	復習：授業を振り返り、ファッションの創造について考える	30分
4回 鈴木	服飾文化研究の現場から (ゲストスピーカー)	復習：ゲストスピーカーの講義を振り返り、今日的課題を考える	30分
5回 菅野	服の形に込められた意味を探る (1) - 18世紀フランスの男性服を中心に -	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む	30分
6回 菅野	服の形に込められた意味を探る (2) - タイ少数民族の脚衣を中心に -	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む	30分
7回 菅野	衣文化を体感する - 歴史衣装の複製の試着と考察 -	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む	30分
8回 梅谷	伝統と現代 (1) - 色・文様に込められた想い	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	30分
9回 梅谷	伝統と現代 (2) - 伝統をささえる技 -	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	30分
10回 梅谷	伝統と現代 (3) - 民族衣装とファッション -	復習：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	30分
11回 井口	SDGsとファッションの関係	復習：授業内容を振り返り、SDGsとファッションについて考える	30分
12回 井口	環境・社会・人権とサステナブル・ファッション	復習：授業内容を振り返り、サステナブルファッションについて考える	30分
13回 井口	ファッション業界におけるSDGsへの取り組みの紹介 (ゲストスピーカー)	予習：ゲストスピーカーの企業について調べる 復習：講義内容についてまとめる	40分
14回 井口	アップサイクルのモノづくり (事例紹介)	復習：授業内容を振り返り、アップサイクルのモノづくりについて考える	30分
15回 梅谷他	まとめ - ディスカッション -	予習：ディスカッションの準備	40分

ファッション画

福地 宏子

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションイメージを的確に表現し伝達するために、人体のプロポーション・服の構造・生地や素材・服の型のみを描くハンガーイラストの表現を学び、人体と服についての理解を深めます。

到達目標(学修成果)

- ・基本のプロポーション(8頭身)にそって、服のバランスを的確に描くことができる
- ・服の構造、ディテール、ハンガーイラストの描き方を修得できる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシーでは必修科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各課題の添削の際にはコメントやアドバイスの記入をして、次回以降の授業で返却する。課題によっては、返却時にクラスメイトの課題を閲覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ファッション画法

参考文献

授業内で適宜紹介する

オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

備考

- ・授業に必要な道具や参考資料は必ず開始前に準備すること
- ・進度により授業計画が変更になる場合もある
- ・学生へのインフォメーションはポータルサイトを利用します

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 各自	【教材、授業計画の確認】 【人体のプロポーション】8頭身の基本バランス	【予習】履修便覧を読んでおく 【復習】人体のプロポーションの反復練習	60分
2回 各自	【ポーズのバリエーション】片脚重心のポーズ	【復習】人体のプロポーションの反復練習	60分
3回 各自	【顔のプロポーション】正面、横、斜めの基本バランス ヘアスタイルの表現も含む	【予習】ヘアスタイルのリサーチ・資料収集 【復習】顔のプロポーションの反復練習	60分
4回 各自	【肌、ヘアスタイル、メイクの着色】 画材の着色方法・画材の使用例(主にマーカー、色鉛筆)	【予習】課題仕上げに向けた資料収集 下描きの完成	60分
5回 各自	【肌、ヘアスタイル、メイクの着色】	【復習】顔・ヘアスタイルのスケッチ	60分
6回 各自	【シャツ&スカートの着装】 ・着装ポイント ・生地の動き、シワの描写表現等	【予習】シャツ・スカートのデザインリサーチ	60分
7回 各自	【シャツ&スカートの着装】 ・シャツとスカートの種類を描き分ける ・着色	【復習】アイテム着装の練習	60分
8回 各自	【シャツ&スカートの着装】 ・着色、仕上げ	【復習】様々なデザインのシャツ、スカートのスケッチ	60分
9回 各自	【ハンガーイラスト】 ・スカート(タイト、ギャザー、フレアー、プリーツ)	【復習】ハンガーイラスト反復練習	60分
10回 各自	【ハンガーイラスト】 ・シャツ、ブラウス	【復習】ハンガーイラスト反復練習	60分
11回 各自	【ハンガーイラスト】	【復習】ディテールのスケッチ練習	60分
12回 各自	【ワンピースの着装】 ・デザインについて ・デザインバリエーション	【予習】ワンピースのデザインリサーチ	60分
13回 各自	【ワンピースの着装】 ・人体への着装	【復習】アイテム着装の練習	60分
14回 各自	【ワンピースの着装】 ・着色、仕上げ	【復習】様々なワンピースのスケッチ	60分
15回 各自	・まとめ ・合評会	【復習】半期課題を振り返る	60分

ファッションビジネス概論

五月女 由紀子

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションビジネスは、商品のクリエイションと顧客満足による企業の利益の両輪で実現します。21世紀になり、小売の業態転換、ネットビジネスの発展が顕著であり、コロナ禍以降さらに加速化しています。服飾大学に学ぶ学生は、卒業後ファッション業界で働く割合が高い事を前提に、川上から川下までの基本的な業界構造、既製服が成立した歴史と背景、商品企画から海外生産の現状、海外展開、昨今伸びてきたオンラインビジネスと店舗の関係など、ファッションビジネスの基礎を学びます。担当教員の10年以上のアパレル企業での勤務経験を活かし、アパレル企業の実例を中心に展開します。

到達目標(学修成果)

第一にファッションビジネスの業界構造を把握し、ファッション商品がどのような工程を経て企画生産され、消費者の手に渡るかを理解し、第二に昨今のファッションビジネスの昨今の業界動向を把握します。就職まで対応できる、ファッションビジネスの基本知識を獲得することを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、専門選択科目の卒業要件科目となります。ファッション業界で働くために必要な、ファッションビジネスを理解する基礎力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

複数回の課題をポートフォリオが授業内に提出してもらい、フィードバックをします。授業内提出物や時間外学修の課題提出の総合点を採点とします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

教員が作成した資料を配布するため、各自管理を行うことが必須です。

参考文献

「ファッションビジネス 改訂版」(ファッションビジネス能力検定試験3級準拠)

財団法人 日本ファッション教育振興協会

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は授業初回に提示します。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室(第3校舎3207教室)

流通イノベーション研究室(第3校舎3300室)

備考

特になし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	ファッションビジネスの定義と特性	予習: シラパスを読む	30分
2回 五月女	維・アパレル業界の構造と職種(川上~川中~川下) 川上のデザイナーの動画視聴	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
3回 五月女	繊維・アパレル業界の構造と職種 川中~川下の事例	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
4回 五月女	日本のアパレル業界 川中+川下のSPA(アパレル製造小売)業態への転換	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
5回 五月女	日本のSPAの商品企画の外部化 (OEMメーカー、ODMメーカーの機能補完と活用)	復習: 課題をポートフォリオに提出する。	60分
6回 五月女	日本のアパレル業界の歴史 日本のアパレルメーカー(アパレル製造卸)と百貨店の発展	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
7回 五月女	マーチャндаイジングとは アパレルMDとリテールMDの違い、多品種少量生産について	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
8回 五月女	日本のアパレル製品の海外生産の現状 中国、ASEAN、南アジアでの生産	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
9回 五月女	ファッションビジネスの歴史 パリのオートクチュール: デザイナービジネスの萌芽	復習: 課題をポートフォリオに提出する。	60分
10回 五月女	ファッションビジネスの歴史 パリのオートクチュール: ブランド戦略と香水ビジネス(シャネルの事例)	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
11回 五月女	ファッションビジネスの歴史 プレタポルテとライセンスビジネス(既製服の大量生産、デオールとサンローラン)	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
12回 五月女	ファッションECビジネスの発展 ECモールと自社サイト、さ(撮影)さ(採寸)げ(原稿)	復習: 課題をポートフォリオに提出する。	60分
13回 五月女	オムニチャネル、OMO(Online Merges with Offline) オンライン(EC)オフライン(リアル店舗)の融合	復習: 考察事案について、次回に向けて文献、ネットなどを調べて整理する。	30分
14回 五月女	店舗スタッフのオンライン接客 (スタッフスタート、ライブコマース等)	復習: 最終課題の準備をする	60分
15回 五月女	まとめ: 未来のファッションビジネス、生成AI、3Dモデリング、メタバース、デジタルファッションなど。	復習: 課題を振り返る。	30分

ファッション・フィールド・リサーチ

大方 和則

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

都内の主要な商業施設の店舗調査(リサーチ)を通じて、商業施設の特性やファッショントレンドの理解を進めていく科目です。渋谷エリア、原宿エリアの2グループに分かれ、それぞれのエリアの優位性の高い商業施設(ファッションビル、百貨店、セレクトショップ、路面店・古着店など)を、リサーチ ディスカッション プレゼンテーションと、アクティブラーニングを通して理解を深めていきます。本科目は、担当教員の長年の実務専門分野(アパレルショップ運営・定点調査・VMD・商品企画の実務経験)を生かし授業運営を行います。

到達目標(学修成果)

都内主要エリアの特性を説明できる。 各業態の特性を説明できる。 対象店舗調査とターゲット分析ができる。トレンド調査、売れ筋商品の分析ができる。 調査エリアでの定点観測と分析ができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

(1) この科目は卒業要件科目の単位であり、全学生の共通必修科目です。
 (2) レポート評価は現地ではしか知りえない情報を中心に、画像や分析コメントなどの情報量の多さ、ビジュアル面による表現力の高さで評価します。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

(1) レポートは、リサーチ翌週の授業点呼で回収。回収したレポートは評価後に返却します。
 (2) 商業施設等の状況により場所や順番の変更をする場合があります。(掲示板を確認して下さい)

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

毎回、リサーチする店舗の参考資料を資料又はデータで配布します。

参考文献

必要に応じて随時お知らせします。

オフィスアワー・研究室

第1回目の授業で説明します。出講日：火曜日

連絡先：教務課(本校舎1階)

備考

- 各施設・各店舗でのルールに留意しながら、団体ではなく個人・チームでリサーチを行ってください。
- 外出機会が多いため店頭での常識ある態度、礼儀、撮影には店員の承諾を得る等を十分注意すること。
- レポート提出が評価の中心になるため期日厳守。またリサーチにかかる交通費は各自負担となります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大方	フィールドリサーチの基本的確認と注意事項の説明 チーム分け(渋谷チーム・原宿チーム)	予習: シラバスの確認 復習: グループ内でエリアの情報共有	30分
2回 大方	渋谷T: フィールドリサーチ 渋谷パルコ 原T: 次回のリサーチ場所の講義	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	60分
3回 大方	原T: フィールドリサーチ ラフォーレ原宿 渋谷T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	60分
4回 大方	渋谷T: フィールドリサーチ 定点観測 スクランブルスクエア 原T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	90分
5回 大方	原T: フィールドリサーチ 定点観測 オモカド/ハラカド 渋谷T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	90分
6回 大方	渋谷T: フィールドリサーチ 伊勢丹新宿(渋谷共通) 原T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	60分
7回 大方	原T: フィールドリサーチ 伊勢丹新宿(渋谷共通) 渋谷T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	60分
8回 大方	渋谷T: フィールドリサーチ 定点観測 ミヤシタパーク 原T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	90分
9回 大方	原T: フィールドリサーチ 定点観測 キャットストリート 渋谷T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	90分
10回 大方	渋谷T: フィールドリサーチ ニューマン高輪(渋谷共通) 原T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	60分
11回 大方	原T: フィールドリサーチ ニューマン高輪(渋谷共通) 渋谷T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	60分
12回 大方	渋谷T: フィールドリサーチ 定点観測 渋谷セレクトショップ 原T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	90分
13回 大方	原T: フィールドリサーチ 定点観測 原宿古着ショップ 渋谷T: 前回リサーチ場所のディカッションと講義、資料作り	予習: リサーチ施設、店舗の調査 復習: レポートの作成(次回提出)	90分
14回 大方	最終プレゼン資料完成とプレゼン準備	予習: 最終プレゼンの準備 復習: 最終プレゼンの準備	60分
15回 大方	グループごとのプレゼンテーション	予習: 最終プレゼンの準備 復習: 最終プレゼンの振り返り	30分

服飾造形基礎

水野 真由美

服飾文化学科 1年 後期 必修 (3単位 演習)

授業の方針・概要

服飾造形のブラウスに関する製図方法と基礎的な知識や技術を修得する。アパレル企業での経験を授業に取り入れ、生産現場の基本的スキルを学んでいく。

到達目標(学修成果)

服飾造形の基本アイテムとしてブラウスのパターンメイキング、縫製方法を学修し、制作プロセスを理解する。また、その他のブラウスの製図方法を学び応用力を身に付けることを目指す。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目。専門科目、服飾関係科目の初年次の演習科目。服飾造形基礎 に続き、基本アイテムにおける服の構造を学修し、専門コースでの学修へ繋げていく。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

成績評価として、提出物が未了の場合は、再履修とする。
課題によるが、14回目までに評価・解説出来るものは、授業内で返却する。小試験・レポート等の添削については、各担当教員から、別途返却の日程を伝達する。15回目にプレゼンテーション後、作品の評価を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING 、SEWING 、電子教材

参考文献

図解服飾用語事典、その他(必要に応じ授業時・ポータルサイトで紹介)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー、研究室については、各クラス第1回目の授業に指示します

備考

進度により、日程および内容を変更することもある。予習・復習の時間は、進捗状況により異なるので各自、必要分を行うこと。記載は最低限の時間である。遅滞課題、分からない箇所がある場合は、サポートに参加するようにする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修		必要時間
		予習	復習	
1回 水野	連携授業について、著作権について、ドレメ式原型について 採寸方法、原型製図、グループワーク実習について	予習 復習	シラバスを読む、採寸方法を調べる 原型について製図方法を見直す	90分
2回 水野	ブラウスの種類、名称・パターン説明、原型製図(身頃続き) ポートフォリオについて	予習 復習	ブラウスの種類を調べる グループワークを進める	90分
3回 水野	基本製図：ボックスシルエット(身頃、ショールカラー、袖) 応用製図：袖(タイトスリーブ)	予習 復習	テキストのブラウス製図の手順を見る 製図を見直す	90分
4回 水野	応用製図：ブラウスの衿、袖各種 グループワークプレゼンテーション	予習 復習	プレゼンテーションの準備 遅滞箇所を行う	100分
5回 水野	ブラウス制作について(サイズ、デザイン、布)、製図 ブラウスのあきについて(縫製方法・身頃)	予習 復習	製図・縫製方法を調べる 遅滞箇所を行う	120分
6回 水野	ブラウスのあきについて(縫製方法・衿) 製図	予習 復習	布の準備、地直し 遅滞箇所を行う	90分
7回 水野	基本製図：タイトシルエット(身頃) 小試験	予習 復習	製図・縫製の確認 遅滞箇所を行う	90分
8回 水野	基本製図：タイトシルエット(ショールカラー、袖) 実物制作 型紙作成	予習 復習	製図・縫製方法の確認 遅滞箇所をお行う	80分
9回 水野	実物制作 裁断	予習 復習	縫製手順の確認 遅滞箇所を行う	90分
10回 水野	実物制作 芯接着、印入れ、ダーツ縫い、縫い代始末	予習 復習	接着芯の選択、縫製の為のしつけ 遅滞箇所を行う	90分
11回 水野	実物制作 縫い代始末、肩縫い、衿作り	予習 復習	縫製のためのしつけ 遅滞箇所を行う	90分
12回 水野	実物制作 衿付け、脇縫い 袖作り	予習 復習	作業箇所を読む、縫製の為のしつけ 遅滞箇所を行う	90分
13回 水野	実物制作 袖付け、裾始末 ボタン付け、ボタンホール	予習 復習	ボタンの選択 遅滞箇所を行う	90分
14回 水野	実物制作 縫製仕上げ、アイロン、提出	予習 復習	着装方法を考える 遅滞箇所を行う	90分
15回 水野	ブラウス縫製評価、ブラウスプレゼンテーション 小試験・まとめ	予習 復習	プレゼンテーション準備 返却課題の見直し	95分

西洋服飾文化史

鈴木 桜子

服飾文化学科 1年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

現在、私たちは洋服を着た生活をしています。しかし日本における洋服の歴史は実質100年の歩みでしかありません。私たちが日本で洋服を着るようになるその背後には、西洋文化の中で培われてきた何千年もの歴史があるのです。

本授業の方針としては、有史以来、民族、地域、風土、宗教によって形成されてきた西洋文化を服飾の視点から探っていきます。また、身体 - 衣服 - 空間の視点から時代の美しさを表わしてきた芸術・建築様式との関連性を重視していきます。

到達目標 (学修成果)

西洋服飾の歴史について、文化史の観点から理解できるようになることが本授業の到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科の必修科目であり卒業要件科目です。また学芸員課程の履修科目の一つになっています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノートに関する評価をし、授業内でフィードバックをしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし。毎回プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

初回授業で説明する「授業の受け方・出欠について・評価について」をきちんと把握理解した上で受講していきましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 服飾と様式について	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	. 古代 エジプト様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
3回 鈴木	ギリシャ様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
4回 鈴木	ローマ様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
5回 鈴木	. 中世 初期キリスト教様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
6回 鈴木	ビザンティン様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
7回 鈴木	ロマネスク様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
8回 鈴木	ゴシック様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
9回 鈴木	. 近世 ルネサンス様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
10回 鈴木	バロック様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
11回 鈴木	ロココ様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
12回 鈴木	. 近代 新古典主義様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
13回 鈴木	ロマン主義	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
14回 鈴木	歴史主義様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめ + プレゼンテーション	総復習テスト、プレゼンの準備	40分

衣服材料学

三代 かおる

服飾文化学科 1年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

衣服を構成する要素として衣服材料は重要な役割を果たしており、衣服材料の知識は服飾に関するすべての分野において必要な基本知識である。衣服材料の物理的・化学的性質を理解し、それぞれの特徴を把握することは、衣服を作り出していく上で重要な基礎となることを、身近な材料として興味を持ちながら身につけて行けるように配慮する。

到達目標 (学修成果)

衣服材料の基礎的知識の習得により、衣服の設計製作において目的に応じた適切な材料の選択ができ、自分の着ている衣服の素材や店頭の衣服に用いられている材料について、説明できるレベルの到達を目指す。また、衣服材料を詳しく理解することでその着心地や管理方法にも関連付けて興味を持てることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、服飾造形関係の基礎を学習する科目。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

配布したプリントの解説、授業内復習試験により繊維の知識を定着させる。繊維の燃焼実験を行い、細部まで観察して繊維についての理解を深め、レポートを個別に添削返却して解説する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

鈴木美和子ほか著 新版アパレル素材の基本 織研出版社 2018

参考文献

授業内で適宜紹介する。

オフィスアワー・研究室

前期 水曜日(10時30分～10時40分)第2校舎小ホール

後期 水曜日(12時10分～12時50分)第3校舎講師控室

備考

必ず教科書を持ってくること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 三代	ガイダンス 衣服材料学とは	予習:シラバスを読む。教科書で繊維名を確認しておく。	30分
2回 三代	繊維の分類	復習:教科書を読み、繊維の分類を理解する。	30分
3回 三代	繊維の物理的性質	復習:教科書を読み、物理構造と強伸度曲線を理解する。	30分
4回 三代	繊維の化学的性質	復習:教科書を読み、化学構造と吸水性吸湿性の関係を理解する。	30分
5回 三代	植物繊維 繊維についてまとめプリントを配布	復習:教科書を読み、植物繊維についてノートにまとめる。	30分
6回 三代	動物繊維	復習:教科書を読み、動物繊維についてノートにまとめる。	30分
7回 三代	再生繊維	復習:教科書を読み、再生繊維についてノートにまとめる。	30分
8回 三代	半合成繊維	復習:教科書を読み、半合成繊維についてノートにまとめる。	30分
9回 三代	合成繊維	復習:教科書を読み、合成繊維についてノートにまとめる。	30分
10回 三代	改良化学繊維	復習:教科書を読み、改良化学繊維についてノートにまとめる。	30分
11回 三代	繊維の燃焼実験 レポート提出	復習:今までの授業内容の総復習。	120分
12回 三代	繊維総復習試験	復習:試験問題を振り返る。	30分
13回 三代	糸の分類	復習:教科書を読み、糸の分類についてノートにまとめる。	30分
14回 三代	織物、編物の構造	復習:授業すべての総復習をし、理解を深める。	120分
15回 三代	まとめ 課題(試験やレポート等)のフィードバックを行う。	復習:試験問題を振り返る。	30分

ドローイング a

瀬古 徹、田邊 風

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

1. 美術解剖学をベースにした「骨格」を知る
2. 人体像を分析し、解釈する

この授業では、これらの「知識」を通して「感覚」となる体験を、紙の上に直接「描画(ドローイング)」しながら学修していく。

服飾造形の出発点である「人体形態」のイメージを、より確かなものとする。

到達目標(学修成果)

1. 服飾造形に必要な最低限度の人体形態の知識を「体感的」に身に付けることが可能となる。「知る」ことによって「描くことができる」ようになり、「描くことができる」ようになることで、「知る」こととなる。
2. 運動に近い描画という行為(ドローイング)を訓練することで、見たこと、思いついたこと、そして感じたことをダイレクトに表現(=絵を描くこと)することが出来るようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、必修科目である。服飾の根幹である「身体」についての「体感的知識」と「描画の運動能力」は、専門分野での発想に直結したイメージの抽出を通して、服飾研究の礎として活かされていく。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回の提出作品の採点后、次回授業最初に、作品の全体的な評価点、問題点等を優秀作品の抜粋により解説する。

14回目提出のポートフォリオは、内容とそれぞれの受講分析に対して、各自に「評価コメント」を記述し15回目に返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業の進行に合わせて、プリントを配付する

参考文献

必要に応じて授業時に指示

オフィスアワー・研究室

研究室オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示。連絡研究室：大学表現演習研究室(第3校舎1階)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 各自	オリエンテーション	予習; シラバスの確認 復習; 画材の確認	30分
2回 各自	形態の把握 リンゴをモチーフとし自然の中に立体形態を探す[アクティブラーニング(A.L)]	予習; 鉛筆、色鉛筆の先端の削鋭を行う 復習; 色鉛筆画材の描画方法の復習	30分
3回 各自	人体構造について 美術解剖学に基づく骨格、プロポーション、位置関係、性差、人種差による形態イメージの比較[A.L]	復習; 人体における骨格の透過図の作成	60分
4回 各自	模写から学ぶ人体構造 過去の作品からの人体イメージ。重心線、アシンメトリーなポーズの意識[A.L]	予習; 骨格の形態と位置関係の確認 復習; 模写の完成	120分
5回 各自	立体構造としての人体の分析 運動する人体のイメージ 箱 ワイヤードローイング[A.L]	予習; 稜線の確認 復習; 人体の立体分析の完成	60分
6回 各自	人体骨格の即興的表現 イメージクローッキー。動きの中の骨格。ドライブラシ技法の試行[A.L]	予習; 骨格の形態と位置関係の確認	30分
7回 各自	クローッキー ヌードモデル。現実において人体の骨格構造を探す。大胆な画材の使用(4ポーズ)[A.L]	予習; 美術解剖学、骨学の確認	30分
8回 各自	人体ドローイング(ワイヤードローイング) ヌードモデル。現実において人体の表面から立体構造を探す(固定ポーズ)	予習; ワイヤードローイング(輪切りの形態の連続)としての立体把握	30分
9回 各自	人体と服 -1 体幹における人体と衣服 “輪切り”としての立体構造の分析。ポートフォリオ作成に関して[A.L]	予習; 立体構造としての基本形態の確認 復習; ガッシュ技法の確認	30分
10回 各自	人体と服 -2 体幹における人体と衣服。稜線の確認、材質感表現の為に「下塗り」。	予習; 骨格の形態と位置関係の確認 復習; 下塗りの完成	30分
11回 各自	人体と服 -3 体幹における人体と衣服。面相筆を使用した表面描写。“リアル”とは何かを考える[A.L]	復習; ガッシュ技法の確認	30分
12回 各自	人体と服 -1 全身における人体と衣服の関係の分析[A.L] 自己分析文について[A.L]	予習; 骨格の形態と位置関係の確認 復習; “リアル”な表現のための「下塗り」	60分
13回 各自	人体と服 -2 全身における人体と衣服の関係の分析[A.L]	復習; 受講分析文、ポートフォリオ完成、2回~13回の復習	120分
14回 各自	最終評価課題 授業の内容の再確認、ポートフォリオの提出[A.L]	復習; 人体の知識、立体表現の専門への応用を考える	45分
15回 各自	まとめ 最終評価課題作品、受講分析文、ポートフォリオの評価のフィードバック、「つくる」こととは[A.L]	復習; 最終評価課題、受講分析文、ポートフォリオの評価に基づく、反省と発展	60分

服飾造形応用

水野 真由美

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

スカートにおける構成や機能を理解し、応用デザインの作品制作をする。スカートについてリサーチを行い流行の形や色など、市場動向を知る。

到達目標(学修成果)

スカートのデザインから制作までを通して造形表現の方法を身に付ける。プレゼンテーションが出来るようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件単位。2年次以降のもーどクリエイションコース、インダストリアルパターンコース等の科目に関連し、スカート制作にあたり、知識や技術を身に付ける。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業最終日に評価を行う。作品の返却は担当教員より別途日時を指定する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING、SEWING

参考文献

図解服飾用語事典、その他(必要に応じ紹介)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー・研究室については、担当教員より第1回目の授業にて指示します。

備考

成績評価として、課題が未了の場合は、不合格とする。

進捗により、日程および内容を変更する場合もある。予習、復習の時間は必要に応じ増減すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修		必要時間
		予習	復習	
1回 水野	オリエンテーション、基本スカート寸法について、基本スカートからの展開方法について説明	予習 シラバスを読む、スカート製図を見る	復習 製図の確認	60分
2回 水野	著作権について、スカートのデザインと布の関係、使用寸法製図方法説明、デザイン考案	予習 リサーチ、コレクション雑誌等の閲覧	復習 製図方法	120分
3回 水野	各自製図	予習 スカート原型のトレース	復習 遅滞箇所を行う	80分
4回 水野	スカートのあきについて 種類・縫製方法	予習 地直し	復習 遅滞箇所を行う	90分
5回 水野	トワルの組み立てについて、トワル裁断・組み立て	予習 デザイン・使用寸法の確認	復習 遅滞箇所を行う	90分
6回 水野	トワル仮縫いについて 仮縫い・補正・製図修正	予習 製図・トレース作業	復習 遅滞箇所を行う	120分
7回 水野	型紙作成 実物裁断・印入れ	予習 縫製方法を調べておく	復習 遅滞箇所を行う	80分
8回 水野	縫製手順(制作マップ)について説明 実物組み立て	予習 縫製手順書の作成	復習 遅滞箇所を行う	120分
9回 水野	実物仮縫い・補正・製図修正・型紙修正・印入れ直し 縫製	予習 サンプル作成	復習 遅滞箇所を行う	120分
10回 水野	縫製	予習 説明のあったところまで進める	復習 遅滞箇所を行う	120分
11回 水野	縫製 1/5大製図の書き方、プレゼンテーション資料について説明	予習 説明のあったところまで進める	復習 1/5大製図下書き、プレゼン資料収集	120分
12回 水野	縫製	予習 説明のあったところまで進める	復習 遅滞箇所を行う	120分
13回 水野	縫製 1/5大製図提出	予習 説明のあったところまで進める	復習 遅滞箇所を行う	120分
14回 水野	縫製 仕上げ、アイロン、提出 プレゼンテーション資料提出	予習 着装方法を考えておく	復習 縫製方法の確認	120分
15回 水野	プレゼンテーション まとめ	予習 プレゼンテーション準備	復習 スカートリサーチ、縫製方法をみる	120分

現代デザイン論

塚本 文雄

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

デザインの時代と呼ばれる現代。技術の進歩と経済的な発展によって、誰でもが簡単にある程度のモノを作ることができるようになった現代。デザインが私たちにもたらすものは何か？そしてデザイナーの役割とは何か？本授業では、デザインの源流とも言えるアーツアンドクラフツ運動から世界と日本のデザイン変遷を振り返り、現代デザインの様々な潮流を基礎知識として学ぶ。また、様々な分野の現役で活躍しているデザイナー、プロデューサーをゲストとして招き、授業担当者のデザイン関連のPR企画実務経験と併せ、学生同士の議論を交えながら現代デザインの課題と未来の展望を考察する。

到達目標 (学修成果)

デザインを志す者にとって知っておきたいファッション領域以外のデザインの基礎知識を得ることで広い視野を持てるようにする。現代デザインの潮流や課題を理解することでこれからのデザイナーの在り方を考え、意識を高められるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目で卒業要件単位となります。造形の授業と関連し、デザインとは何かを自ら問い、考えることで、自身の将来への指針に活かす契機となるでしょう。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題提示、提出および授業に関する連絡はポータルサイトにて行う。課題によっては評価結果をポータルサイトにてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業資料プリントを作成する。

参考文献

必要に応じて授業で紹介する。

オフィスアワー・研究室

教務課を通じて連絡してください。出講日：木曜日

備考

ゲスト招聘の回は日程、内容変更が生じる場合があるため都度授業時に周知する。課題はゲスト講師授業の感想文3回。展覧会見学感想文2回。プレゼンテーション1回。最終課題レポート1回。授業中のグループディスカッションへの取り組み状況や授業態度、出席日数なども重視します。誠実に学修してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 塚本	【イントロダクション1】本講義の概要と目的の説明。デザインとは何か？の問題提起	復習：今後の講義内容への準備	30分
2回 塚本	【イントロダクション2】「デザインジャーナリスト」を招き現代デザインの課題やデザイナーの在り方、仕事を語る。	復習：講義の感想文を翌日までに提出	30分
3回 塚本	【世界のデザイン史1】1800年代～1940年代：アーツアンドクラフツからパウハウスまで。講義+議論+発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
4回 塚本	【世界のデザイン史2】1950年代から1990年代：戦後のデザインから2000年までのデザイン。講義+議論+発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
5回 塚本	【日本のデザイン史1】明治～1945年：殖産興業から戦時下のデザインまで。講義+議論+発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
6回 塚本	【日本のデザイン史2】戦後～1990年代：戦後のデザインからバブル期を経て2000年までのデザイン。講義+議論+発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
7回 塚本	【デザインの今1】「インテリアデザイナー」を招きデザインのトレンドと課題、将来への展望を実務経験と併せて語る。	復習：講義の感想文を翌日までに提出	30分
8回 塚本	【現代デザインの潮流1】2000年以降のデザイン：激変する中、デザイナーの価値、課題は何か考察。講義+議論+発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
9回 塚本	【現代デザインの潮流2】世界で活躍する日本人デザイナーのデザインの考え方を紐解き考察する。講義+議論+発表	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	60分
10回 塚本	【デザインの今2】「広告ディレクター」を招き、将来への展望を実務経験と併せて語る。ワークショップ実施。	予習：ワークショップを理解し講義に参加すること。復習：講義感想文を翌日提出。	60分
11回 塚本	【デザインの今3】自分の好きなデザイン、興味あるデザインを選び、授業で発表。現在のデザインを考察、	予習：好きなデザインの画像を事前に提出。発表コメントを考え受講すること	60分
12回 塚本	【デザインの未来1】これからのデザインとは？デザインの可能性とデザイナーの在り方を考える。映像視聴+発表	復習：最終課題への準備を行う。	30分
13回 塚本	【デザインの未来2】これからのデザインとは？デザインの可能性とデザイナーの在り方を考える。映像視聴+発表	復習：最終課題への準備を行う。	30分
14回 塚本	【現代デザインの潮流3】デザインミュージアムの活動と役割。キュレーターの仕事紹介映像視聴。	予習：前週に配布するレジュメを確認し議論できるよう準備し講義に臨むこと。	30分
15回 塚本	【現代デザインの潮流4】前週の映像を見ての感想を議論+発表+現代デザイン論総括	予習：映像感想の議論にむけて準備しておくこと。	30分

ファッション販売論

大極 勝、岩井 光枝

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

全国展開の婦人服小売業チェーンにおける実務経験を活かし、ファッション産業での販売業務の役割と重要性が理解できます。教科書と実務経験の融合から販売業務の基礎知識とテクニックを学ぶことができます。現場感を確認することで販売業務の奥深さと楽しさを感じ取ることができます。販売業務を通して、社会人として人としていかにあるべきかを総合的に学ぶ授業です。これら学びながら、ファッション販売能力検定3級を受験・合格ができるファッション全般に関わる知識の習得を目指します。

到達目標 (学修成果)

ファッション販売能力検定3級を取得する知識と実力を身に付け、ファッションアドバイザー、コーディネーターとしてライフスタイル全般の提案ができる基本スキルを習得します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目で卒業要件単位となります。専門専攻にかかわらず選択することができます。実社会に出た時に新たな力となる考え方の基盤を作ることができ、4年間の各講座の積極的理解のかなめとなります。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各回講義終業前に過去問題に取り組み、次回の講義で解答の解説と確認をします。
全授業のまとめとして、期末にペーパー試験を実施。解答と解説、総評を後日キャンパスマジックにてフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ファッション販売3 (日本ファッション教育振興協会編)

参考文献

ファッション販売3 - ファッション販売能力検定試験3級公式問題集 - (日本ファッション教育振興協会編)

オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・マネジメントコース〔3402教室〕または講師控室にて授業前30分程度待機しています。

備考

教科書は必ず準備し毎回持参してください。全15回ともキャンパスマジックにて授業用レジュメ、過去問題、課題等を配信します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 大極	ファッション業界人にあるべき姿 - 問われる総合的な人間力 社会人、学生である前に人としてのあり方を考える	復習：レジュメ・課題・問題集等を キャンパスマジック (以下CM) にて配信	30分
2回 大極	ファッション販売知識を学ぶ (P. 8 ~ 19)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
3回 岩井	ファッション販売技術を学ぶ (P. 20 ~ 45)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
4回 大極	商品知識1 (アイテム) を学ぶ (P. 46 ~ 75)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
5回 大極	商品知識2 (インナー、雑貨) を学ぶ (P. 76 ~ 93)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
6回 大極	商品知識3 (素材、ディテール) を学ぶ (P. 94 ~ 117)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
7回 岩井	売り場づくりを学ぶ (P. 152 ~ 173)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
8回 大極	商品知識4 (柄、色彩、) を学ぶ (P. 118 ~ 135)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
9回 大極	商品知識5 (サイズ、副資材) を学ぶ (P. 136 ~ 151)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
10回 岩井	販売スタッフの業務を学ぶ (P. 198 ~ 213)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
11回 大極	マーケティングについて学ぶ (P. 174 ~ 197)	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
12回 大極他	テキストフォローと販売実務・実践を学ぶ	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
13回 大極他	テキストフォローと販売実務・実践を学ぶ	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
14回 大極他	テキストフォローと販売実務・実践を学ぶ	復習：レジュメ・過去問題集等をCMにて配信	30分
15回 大極他	「まとめ」として小テスト実施 授業内容の総合的な理解度を確認する	自己確認：模範解答・解説をCMにて配信	60分

流行論

五月女 由紀子、山中 健

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

現代の流行がいかに生まれ拡散するか、そのメカニズムをデジタル（SNSの口コミ）とリアル（コレクション・トレンド）の両面から解明します。前半はデジタルマーケティングの視点から、SNS上の口コミやUGCが消費行動に与える影響を分析し、インフルエンサーやバイラル（口コミ）マーケティングの仕組みを理解します。後半は、実務家教員である現役オンラインメディア編集者が担当をし、豊富なコレクション取材経験に基づき、トレンド決定のプロセスや最新動向を現場視点で学びます。

到達目標（学修成果）

現代の流行形成プロセスを、デジタル（SNS・口コミ）とリアル（コレクション）の双方から体系的に理解します。SNS上の消費者心理と、プロが仕掛けるトレンドの両面を分析し、市場動向を論理的に説明できる能力を養います。実務家教員による現場の知見を通じて、実際のビジネスでトレンドを予測・活用し、売れる仕掛けを作るための実践的なマーケティング視点を習得します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

1年生の履修を中心とした、服飾学部全学生の専門選択科目の卒業要件科目となります。ファッションビジネスを理解する基礎力向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

複数回の課題をポートフォリオが授業内に提出してもらい、フィードバックをします。授業内提出物や時間外学修の課題提出の総合点を採点とします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

教員が作成した資料を配布するため、各自管理を行うことが必須である。

参考文献

「メディアと流行の心理」中島純一 金子書房

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は授業初回に提示する。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 第3校舎3207教室
ファッションビジネス・流通イノベーション研究室 (3300)

備考

授業内容は進行状況等により変更することもあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	「流行」の概念 - 流行曲線を考える -	予習：シラパスを読む	30分
2回 五月女	製品のライフサイクルと消費者採用プロセス（ロジャース） - 早期採用者理論 -	復習：課題レポートを作成する	60分
3回 五月女	デジタルマーケティングのコミュニケーション - SNS と口コミによる購買行動 -	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
4回 五月女	デジタルマーケティングのコミュニケーション - UGCとステルスマーケティング -	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
5回 五月女	デジタルマーケティングのコミュニケーション - WEB広告・PR・プロモーション -	復習：課題レポートを作成する	60分
6回 五月女	ファッションカラーとトレンド予測のしくみ	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
7回 山中	ファッションシステムの変遷とファッションウィークの変化 ～トレンドはどう作られてきたのか～	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
8回 山中	ラグジュアリーブランドの戦略 ～各時代をリードしてきたデザイナーの軌跡～	復習：課題レポートを作成する	60分
9回 山中	韓国ブランドの流行戦略 ～クイックマーケティングを究めるプレイヤーたち～	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
10回 山中	バブルアップ戦略と事例 ～下から上へ、クリエーターの新解釈が流行を変える～	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
11回 山中	東京ストリート流行変遷 ～1990年から2020年代までのストリートカルチャーの変化～	復習：課題レポートを作成する	60分
12回 五月女	ファッションジャーナリストによる特別講義	復習：課題レポートを作成する	60分
13回 五月女	ファッションメディア編集者が注目する流行	復習：配布資料を振り返り、整理する	60分
14回 五月女	ファッションとインフルエンサーマーケティング - インフルエンサーとフォロワーが作る流行 -	予習：まとめ課題レポートを作成する	60分
15回 五月女	まとめ（課題）のフィードバックを行う	復習：授業全体を振り返り、整理する	60分

流通・商業入門

山中 健

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本講義では、ビジネスに関わる学問の初学者を対象として、流通や企業活動について思考するための概念・理論・枠組み・事例を提供します。商業（需要と供給を結びつけることで利益を得る事業）の仕組みや、流通（製品・サービスを消費者に適切に提供する仕組み）についての理解を深めることを目的としています。

到達目標（学修成果）

流通・商業に関わるコンセプトおよび理論枠組みを理解し、流通の仕組みや企業活動について論理的に思考する能力を養います。
講義で学んだ内容を具体的な現象に適用し、それらを他者に分かりやすく説明・伝達する能力を養います。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目の単位となります。全学生の共通必修で、ファッションビジネスを理解する基礎力向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内テストの終了後に、解説付きの正答を配布します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業後にPDFにて資料を配布

参考文献

WWD、織研新聞、FashionSnap、流通ニュース、「アパレルビジネス 久保雅裕著（クロスメディア・パブリッシング）」

オフィスアワー・研究室

メールにて対応します。初回の授業で改めてお伝えします。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 山中	ガイダンス、流通システムと業態	資料を読み復習する	30分
2回 山中	業態研究 百貨店と個店主義	資料を読み復習する	30分
3回 山中	業態研究 専門店チェーンとSCM	資料を読み復習する	30分
4回 山中	業態研究 SPAと流通統合	資料を読み復習する	30分
5回 山中	業態研究 ラグジュアリーブランド	資料を読み復習する	30分
6回 山中	業態研究 デザイナーブランド	資料を読み復習する	30分
7回 山中	業態研究 キャラクターブランド	資料を読み復習する	30分
8回 山中	業態研究 セレクトショップ	資料を読み復習する	30分
9回 山中	業態研究 SC	資料を読み復習する	30分
10回 山中	業態研究 二次流通	資料を読み復習する	30分
11回 山中	海外主要国の商業 米国	資料を読み復習する	30分
12回 山中	海外主要国の商業 欧州	資料を読み復習する	30分
13回 山中	海外主要国の商業 東アジア	資料を読み復習する	30分
14回 山中	海外主要都市の商業 アセアン	資料を読み復習する	30分
15回 山中	まとめ	資料を読み復習する	30分

ファッション画

太田 香織

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

服のシルエット、素材、色彩等を意識し、デザインの正確な描写をトレーニングすることで、ファッション画Iで修得した知識と技術を発展させていきます。

幅広いファッションジャンルに対して目を向け、自身の好みや世の中の流行を意識することを心がけます。

到達目標(学修成果)

- ・生地や素材感を意識した描写ができる
- ・様々なアイテムに対しての着装表現、ハンガーイラストの描き方を修得できる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシーでは、モードテクノロジー系・ビジネス系ともに必修科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各課題の添削の際にはコメントやアドバイスの記入をして、次回以降の授業で返却する。

課題によっては、返却時にクラスメイトの課題を閲覧する時間を設けて、意見交換やアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ファッション画法

参考文献

授業内で適宜紹介する

オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】第1回目の授業時に指示する

備考

- ・授業に必要な道具や参考資料は必ず開始前に準備すること
- ・進度により授業計画が変更になる場合もある
- ・学生へのインフォメーションはポータルサイトを利用します

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 各自	【素材や柄の描写表現】 画材を活かした表現方法(マーカー・色鉛筆等)	【予習】履修便覧を読んでおく	30分
2回 各自	【素材や柄の描写表現】	【復習】様々な素材や柄の表現練習	60分
3回 各自	【テーラード・ジャケット】 ・ジャケットの説明 ・基本デザインの練習	【予習】ジャケットのデザインリサーチと資料収集	60分
4回 各自	【テーラード・ジャケット】 ・人体への着装とハンガーイラスト	【復習】様々なジャケットのデザインをスケッチ	60分
5回 各自	【テーラード・ジャケット】 ・着色、仕上げ作業	【復習】様々なジャケットのデザインをスケッチ	60分
6回 各自	【子供服】 ・年齢によるプロポーションの変化、ポーズの表現	【予習】子供服のデザインリサーチと資料収集	60分
7回 各自	【子供服】 ・デザイン提案 ・素材表現	【復習】年齢によるプロポーションの変化と着装的練習	60分
8回 各自	【コート】(厚手の毛織物) ・素材とデザインを意識したシルエット表現	【予習】コートのデザインリサーチと資料収集	60分
9回 各自	【コート】 ・着装とハンガーイラスト	【復習】様々なコートのデザインをスケッチ	60分
10回 各自	【コート】 ・着色、仕上げ作業	【復習】素材描写の練習	60分
11回 各自	【メンズファッション】 ・プロポーションの練習 ・着装表現	【復習】プロポーションの反復練習	60分
12回 各自	【メンズファッション】	【復習】着装的練習	60分
13回 各自	【sceneに合わせたファッション提案】 ・TPOを設定し、デザインやコーディネート提案する	【予習】自身の提案内容を確認し、資料収集と課題進行の準備	60分
14回 各自	【sceneに合わせたファッション提案】	【復習】自身の提案内容を確認	60分
15回 各自	【sceneに合わせたファッション提案】	【予習】課題進行の準備	60分

経営学入門

宮木 一平

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

「会社」とは何かを理解すると、生きるうえでとても役立ちます。実際、僕らの日々の生活を支えるモノやサービスの多くは「会社」によって作り出され提供されています。また、多くの人々が「会社」で働き、給料をもらって生活しています。当授業では「会社」と「マネジメント」について、個別には「マーケティング」や「イノベーション」について、わかりやすくお話しします。良い会社の見分け方、良い会社に就職するための心得についてもお話しします。将来「会社」に勤めたい、「会社」を作ってビジネスをスタートさせたい、自分のショップを持ちたいという人にとりわけおススメの授業です。

到達目標 (学修成果)

本授業での到達目標は、今後「会社」と何らかの形で関わってゆく上で役立つ、そしてもちろん就活にも役立つ基礎的知識とスキル、そして考え方・見方を身につけることです。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門科目で卒業要件科目となります。ビジネスを理解する上で基礎となる科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で毎回の課題の解説を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	15%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	25%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。講義ノート重視です！あえて言えば、ドラッカーの「マネジメント」(ダイヤモンド社)です。

参考文献

「知の巨人ドラッカー自伝」(日本経済新聞出版社)はおススメです。その他、必要に応じて紹介します。

オフィスアワー・研究室

質問があれば授業後に声をかけるか、mippeij@jcom.home.ne.jpにメール連絡してください。出講日：月曜日

備考

履修にあたって予備知識は一切必要ないので、ご安心ください。きちんと出席して耳を傾けてくれれば必ず理解出来るようにわかりやすく説明します。毎回授業中に簡単な課題を提示して用紙に回答してもらい、意見交換を行います。ただ正解を確認するような課題ではなく、皆さん個人の意見を確認するような課題ですのでリラックスしてのぞんでください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 宮木	ガイダンス・授業の概要紹介 授業の進め方とルールの説明	予習：シラバスを読む 復習：ルールをよく理解する	30分
2回 宮木	経営学って何？ マネジメントって何？(人生そのもの！8つの問い)	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
3回 宮木	会社って何？ 4つのアプローチ	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
4回 宮木	企業、法人、会社って何？(1)	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
5回 宮木	企業、法人、会社って何？(2)	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
6回 宮木	株って何？株式会社って何？(1)	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
7回 宮木	株って何？株式会社って何？(2)	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
8回 宮木	会社は誰のもの？ - コーポレートガバナンスの話	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
9回 宮木	会社の価値って何？ - M&Aの話	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
10回 宮木	日本的経営、欧米的経営って何？ - 雇用・賃金の話	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
11回 宮木	社会における役割分担 - 行政、会社、非営利組織	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
12回 宮木	これからの会社 - 役割、分野	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
13回 宮木	いい会社の見分け方(1)	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
14回 宮木	いい会社の見分け方(2) - 就職活動の心得	復習：授業内でのQ&Aの双方向のやり取りを振り返り、考え方を定着させる。	30分
15回 宮木	まとめ 授業内で提示した課題の振り返りと解説を行う	復習：最終課題を振り返る。	30分

色彩演習

桐山 征士

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

美術やデザインの大学は入試時にハイレベルな色彩能力を問う。そのレベルに追いつくためのトレーニングを行う。色彩を扱う上で、不可欠な経験と色を見抜く力を育て、色価(パルル)を整える能力を身につける。デザインのコンセプトに見合った根拠のある色彩を選ぶ(プレゼンの際、重要な要素となる)能力と経験を身につける。ファッション色彩能力検定関係者である担当教員が全ての過去問題を分析し、最近の傾向を読み取った練習問題を行うことで、3級の実技問題の対策を行う。実技問題は2点(知識問題は1点)なので、重要な対策となる。

到達目標(学修成果)

色の3原則である「色相」と「トーン(明度と彩度を併せ持つ概念)」が理解出来るようになる。コミュニケーションに必要なマンセル記号(色を的確に表す指標)を理解する。

造形に必要な「コンセプトに見合った配色」を客観的な視点で習得することができる。

「ファッション能力色彩検定3級(一部2級)」レベルの実技力(一部知識問題)を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッション色彩能力検定3級(一部2級) 実技問題(一部の知識問題を含む)の対策になる。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

全ての課題が「正解」となるまで、対面もしくは、ポータルサイト等を用いてアドバイスを行う。

ファッション能力色彩検定の練習問題の解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

ファッション色彩 [] 日本ファッション教育振興協会

参考文献

適宜プリントを配布する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの時間は初回の授業で指示する。研究室：3003工芸室

備考

初日に課題に用いるケント紙代として100円を集める。

初日の持ち物は「ファッション色彩 []」・「ベーシックカラー」・筆記用具。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 桐山	ガイダンス	ファッション色彩 [] に目を通す。	30分
2回 桐山	ベーシックカラー番号書き	ファッション色彩 [] に目を通す。	30分
3回 桐山	課題1「明度を合わせる」 有彩色の明度を読み取るトレーニングを行う。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
4回 桐山	課題1「明度を合わせる」 有彩色の明度を読み取るトレーニングを行う。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
5回 桐山	課題1「明度を合わせる」 有彩色の明度を読み取るトレーニングを行う。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
6回 桐山	課題2「色相差よる配色」 色相差を見極め、理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
7回 桐山	課題2「色相差よる配色」 色相差を見極め、理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
8回 桐山	課題2「色相差よる配色」 色相差を見極め、理解する。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
9回 桐山	課題3「明度と彩度」 明度と彩度の区別し、読み取るトレーニングを行う。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
10回 桐山	課題3「明度と彩度」 明度と彩度の区別し、読み取るトレーニングを行う。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
11回 桐山	課題4「トーンによる配色」 明度と彩度を併せ持つ概念であるトーンを理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
12回 桐山	課題4「トーンによる配色」 明度と彩度を併せ持つ概念であるトーンを理解する。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
13回 桐山	課題5「色相とトーンによる配色」 色相とトーンをコントロール。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
14回 桐山	課題5「色相とトーンによる配色」 色相とトーンをコントロール。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
15回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分

色彩演習

桐山 征士

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	
16回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
17回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
18回 桐山	課題6「無彩色と有彩色による配色」 マンセル記号を見ずに目で明度と彩度を見分ける。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
19回 桐山	課題7「色の感情効果」 色彩の心理的效果を理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
20回 桐山	課題7「色の感情効果」 色彩の心理的效果を理解する。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
21回 桐山	課題8「色彩構成のテクニック」 配色のテクニックを学ぶ。	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
22回 桐山	課題8「色彩構成のテクニック」 配色のテクニックを学ぶ。	進みが遅い場合、ある程度進めておく。(復習)	30分
23回 桐山	課題8「色彩構成のテクニック」 配色のテクニックを学ぶ。	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分
24回 桐山	課題9「流行色情報に登場する配色方法」 基本的な配色方法を学ぶ。(2級対策)	進みが遅い場合、ある程度進めておく。(復習)	30分
25回 桐山	課題9「流行色情報に登場する配色方法」 基本的な配色方法を学ぶ。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
26回 桐山	課題9「流行色情報に登場する配色方法」 基本的な配色方法を学ぶ。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
27回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
28回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	進みが遅い場合、ある程度進めておく。(復習)	30分
29回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
30回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネーション」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	未完成の課題を終わらせる。(復習)	30分

ビューティー・メイクアップ術A

中島 由起子

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します

参考文献

授業内に適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

ビューティー・メイクアップ術B

中島 由起子

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します

参考文献

授業内に適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

学修基礎

水野 真由美、手島 陽介、桐山 征士、千代崎 寛、鈴木 桜子、伊藤 高広、五月女 由紀子、外川 恵
服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

大学新入生を対象とした「初年次教育科目」です。杉野服飾大学での学びに適応し、長期的・短期的将来像を見据えた学びの目的や意識を明確に持つことができるよう、様々な角度から講義を展開します。さらに、大学における、基礎的なアカデミックスキル（受講技術、学問的・知的活動の技術）、ソーシャルスキル（社会人としての健全な生活習慣を身に付ける技術）、スチューデントスキル（大学生生活を円滑に進める技術）を修得すること、学生の学修を助けます。

到達目標（学修成果）

各授業において、それぞれの領域の知識を獲得します。 知的及び長期的な目標を持ちます。
杉野の学びについて理解します。 学習態度・姿勢を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の「初年次教育」に配置されている卒業要件科目です。ディプロマポリシー（学位授与方針）では、教養科目34単位の履修によって、社会人としての資質、能力を養うとしています。本科目は、大学入学直後から前期にかけて上記の授業方針に沿って学生の学修基礎を培います。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

それぞれの講義のレポート等は、担当教員が点検・返却する

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

各教員作成のハンドアウト等を使用します。

参考文献

必要に応じて授業時に指示します。

オフィスアワー・研究室

担当教員のオフィスアワーと各研究室については、担当者より伝えます。

備考

授業のレポート課題提出、キャリアポートフォリオの記入を行うこと
キャリアポートフォリオを授業時に活用するため、パソコンを持参してください。
担当者、担当回、内容等の変更については、ポータルサイトに記入致します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井他	授業態度・姿勢について 専門教育の概要とビデオ視聴 キャリアポートフォリオ及び総合ポートフォリオについて	予習 シラバスを読む 復習 キャリアポートフォリオの記入	60分
2回 水野	服装マナー、ドレスコードについて グループディスカッション キャリアポートフォリオ	予習 服選びをどのようにしているか考える 復習 キャリアポートフォリオの記入	60分
3回 鈴木康	社会的命題とファッションの位置付け	予習 SDGs17の目標について目を通しておく 復習 環境保全に役立つファッションを考える	60分
4回 安部	「パリとモード」について 服をつくる人・服をつくることについて考える	予習 「パリコレ」について調べる	60分
5回 手島	有意義な学生生活 心の健康と学生生活:グループディスカッションを通し「精神的健康」「ストレス」について理解する	復習 授業内で紹介する心理学関連の動画資料(Ted Talks)を視聴し、自己を振り返る	60分
6回 外川	有意義な学生生活 学生生活と食事 朝食に着目したグループディスカッション	予習 授業前日の食事をふりかえる 復習 「明朝からできること」を実践する	60分
7回 草葉	ことばのバリエーションを知る 日本語と英語の比較から	復習 身近なことばの使用について考える 関連するTED Talksなどの動画を視聴する	50分
8回 五月女	情報リテラシー 情報の真偽と生成AIの倫理（データとプライバシー）	復習 「個人情報保護」の観点から情報の取り扱いを考える	60分
9回 鈴木桜	一冊の本に出会う 自分にとっての大切なフレーズ	予習 図書館HPの検索機能を使ってみよう 復習 本との出会いを求めて図書館に行こう	60分
10回 水野	卒業生 特別講義	復習 卒業生の学生時代、現在の話から、自身の目標の確認をする	60分
11回 桐山	創作の目的意識 - デザインすること	予習 デザインについて考察する 復習 講義を踏まえ、デザインを考察	60分
12回 千代崎	創作倫理（研究者倫理） 著作権と学修 他者と自身を守る・研究と制作の記録を残し活用する	予習 著作権に関する記事に目を通しておく 復習 自身の研究と著作権を関連付け考察する	60分
13回 伊藤	博物館・美術館を利用しよう 博物館・美術館の活動について知る 学芸員の活動について知る	予習 展覧会情報等を検索する 復習 博物館・美術館等が提供の研究・教育リソースを閲覧	90分
14回 伊藤	伝統芸能を鑑賞しよう 伝統芸能の概説 伝統芸能の鑑賞の仕方を知る	予習 動画を見てみる 復習 公的機関等が提供している研究・教育リソースを閲覧	90分
15回 水野	まとめ キャリアポートフォリオ 記入	復習 フィードバックされた内容を確認する	30分

文章表現

伊藤 高広

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

自分の判断や意見、発想などを相手に伝えるためには、わかりやすい文章を書かなければなりません。ワークシートや文章作成などで、そのための練習をします。2年次以降の、レポート・論文執筆のための基礎的訓練でもあります。また、さまざまな文章を読み、そこから正しい情報を読み取る練習もします。

到達目標(学修成果)

文章表現の基礎を身につけ、自分の考えを相手にうまく伝えることができるようになる。様々なメディアの情報を読み解き、判断できる能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目で、卒業に必要な科目です。社会人としての資質・能力を養います。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出された課題は次時添削して返却。清書して提出、次時添削・評価して返却。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

毎時、新聞記事等を資料として配布する

参考文献

授業中に適宜紹介する

オフィスアワー・研究室

月曜12:30~13:30 文章表現研究室(研究棟1階)

備考

原稿用紙・ノート・ファイルを用意しておくこと

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	ガイダンス~作文の基礎 文と文章 毎時、添削・口頭指導等を行う	シラバスに目を通しておく	30分
2回 伊藤	作文の基礎 文章の基本的なルール 説明文を書く 【練習】文の練習	復習 課題について情報を収集し、知識を深める	60分
3回 伊藤	作文の基礎 文章の基本的なルール 【練習】段落構成の練習	復習 添削された原稿を見直す	30分
4回 伊藤	作文の基礎 文章の構成 意見文を書く 【練習】文の練習	復習 課題についてweb等を利用して情報を収集する	60分
5回 伊藤	作文の基礎 文章の構成 【練習】文の練習まとめ	復習 添削された原稿を見直す	30分
6回 伊藤	自分の考えを表現する 根拠を明確にする 【練習】文の練習	復習 課題についてweb等を利用して情報を収集する	60分
7回 伊藤	自分の考えを表現する 根拠を明確にする 【練習】要旨をまとめる	復習 添削された原稿を見直す	30分
8回 伊藤	自分の考えを表現する 考える道筋を意識する 【練習】文の練習	復習 課題についてweb等を利用して知識を深める	60分
9回 伊藤	自分の考えを表現する 考える道筋を意識する 【練習】要旨をまとめる	復習 添削された原稿を見直す	30分
10回 伊藤	情報を読み解く 文章やデータを正確に読み取る 【練習】文の練習	復習 課題について、情報を整理してまとめる	60分
11回 伊藤	情報を読み解く 文章やデータを正確に読み取る 【練習】要旨をまとめる	復習 足りなかった部分を調べる	30分
12回 伊藤	情報を読み解く 複数の視点から情報を読み解く 【練習】文の練習	復習 課題について、情報を整理してまとめる	60分
13回 伊藤	情報を読み解く 複数の視点から情報を読み解く 【練習】要旨をまとめる	復習 足りなかった部分を調べる	30分
14回 伊藤	2年時以降に向けて レポートや小論文を書くための約束事を確認する	復習 個々の課題を発見する	30分
15回 伊藤	2年時以降に向けて	復習 足りなかった部分を調べる	30分

情報演習 (学修ポートフォリオを含む)

水越 綾

服飾文化学科 1年 前期 必修 (3単位 講義/演習)

授業の方針・概要

本授業では、Microsoft Office アプリケーションの活用を主軸とし、基礎的な操作スキルの定着を図る。Society5.0の進展により、情報環境やテクノロジーは急速に変化しており、情報リテラシーの基礎を理解し、自ら課題を認識し、必要な情報を主体的に収集・更新しながら学修に取り組む姿勢が求められる。社会で話題となっているニュースや事例を取り上げ、生成AIを含むデジタル社会における情報の扱い方やデジタルツールとの適切な関わり方について考察する。あわせて、試行錯誤を通じて学びを深める能動的な学修態度を重視し、実践的なICTリテラシーとデジタルシティズンシップの涵養を目指す。

到達目標 (学修成果)

本授業を通じて、PCの基本操作および情報分野の基礎用語を用いて説明し、デバイスを問わず互換性を意識したアプリケーション操作を行うことができるようになる。あわせて、デジタル・IT分野のニュースや社会動向を調査・整理し、課題や制作内容に反映することができる。さらに、「創造する力」「挑戦する力」「自立する能力」を踏まえ、デジタルシティズンシップの考え方に基づいた適切な学修行動を実践できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、卒業要件科目です。基本的なITスキル・デジタルシティズンシップ概念を身に付け、社会人としての資質・能力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題の講評は授業内に実施。練習課題においては学修ポータルを通じてフィードバックを行ないます。また課題によっては学生間でピアフィードバックを実施します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

考える伝える分かち合う情報活用力 (noa出版)

参考文献

情報通信白書 (総務省)、IPA DX白書 (独立行政法人情報処理推進機構)。ほかにも省庁・自治体等のWebサイト

オフィスアワー・研究室

授業初回にアナウンスします 研究室 研究棟1階6012B

備考

システム課より発行されたIDとパスワードは授業時必携。授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスします。サポートを行なっているので、積極的に利用して下さい

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 水越	初回ガイダンス、コンピュータ室利用ルール、Google Classroom、Windows基本操作、Active Mail (署名・Cc・Bcc)	予習: テキストSection6・7。PC基本操作を予め確認し、activmailにログインしてみる。	90分
2回 水越	エッセイを作成する : 到達目標・ループリック確認 / Word基本操作 / 生成AIと著作権	予習: テキストSection9・10。Adobeアカウントを各自登録。本学AI使用ガイドライン確認。	90分
3回 水越	エッセイを作成する 生成AIを活用して挿絵を作成する。 / 自分が撮影した画像を使う際の権利問題について	予習: テキストSection9・10。AdobeFireflyユーザーガイドラインに目を通しておく。	90分
4回 水越	エッセイを作成する 課題作成。保存形式について (PDF形式) 到達目標とループリックを確認	予習: テキストSection9・10。課題を進めておく。	90分
5回 水越	エッセイを作成する 完成・印刷、到達目標とループリックを確認 / 自己採点と他者評価	予習: テキストSection9・10。課題を進めておく。	90分
6回 水越	身近な事例を通して、情報リテラシー行動宣言を言語化する	予習: テキストSection1・2・7・8に目を通しておく。	90分
7回 水越	デジタルシティズンシップ : 事例分析とグループワーク (PowerPoint)	予習: テキストSection1・2・8に目を通しておく。	90分
8回 水越	デジタルシティズンシップ : テーマに関する調査と検討 (グループ) (PowerPoint)	予習: テキストSection10・11・12に目を通しておく。	90分
9回 水越	デジタルシティズンシップ : 発表資料の構成と形式調整 (PowerPoint)	予習: テキストSection11・12・13に目を通しておく。	90分
10回 水越	デジタルシティズンシップ : プレゼンテーションと評価・省察	予習: 発表用ループリックを確認し、発表の準備・練習をしておく。	90分
11回 水越	Excel基礎: データ入力・表作成・関数・グラフの基本	予習: 統計局・自治体が公開している情報にアクセスしてみる。	90分
12回 水越	数理・データサイエンス基礎 : オープンデータを用いた基礎的分析	予習: 統計局・自治体が公開している情報にアクセスしてみる。	90分
13回 水越	数理・データサイエンス基礎 : オープンデータの比較・可視化分析	予習: 統計局・自治体が公開している情報にアクセスしてみる。	90分
14回 水越	数理・データサイエンス基礎 : オープンデータを用いた相関的分析	予習: 課題を進めておく。	90分
15回 水越	統計地理情報システムを用いた防災マップ作成	予習: 統計地理情報にアクセスしてみる。	90分

情報演習 (学修ポートフォリオを含む)

水越 綾

服飾文化学科 1年 後期 必修 (3単位 講義/演習)

授業の方針・概要

本授業では、Adobe Photoshop、Illustrator等の基礎的な操作スキルの修得を主軸としつつ、機能や仕様が継続的にアップデートされるアプリケーションを効果的に活用するために、生成AIを含む各種デジタル手法について、目的や制作段階に応じて必要な情報やスキルを自ら収集・修得する姿勢を養う。また、課題制作や発表を通して、試行錯誤しながら挑戦し、創造する力を育むことを目的とする。学習者間での相互評価を取り入れることで、他者の作品や視点に触れ、自身の制作を客観的に捉え直し、その省察を次の表現へとつなげる学修プロセスを重視し、自律的なスキル向上を目指す。

到達目標(学修成果)

1. PhotoshopおよびIllustratorの基本機能を用い、目的に応じて使い分け、両アプリケーションを連携した制作ができる。2. 著作物の基礎的な知識を踏まえ、課題制作や情報発信において適切な判断と取り扱いができる。3. デジタル・IT分野の動向を調査・整理し、制作や表現内容に反映できる。4. 課題制作に主体的に取り組み、創造・挑戦・自立を踏まえた学修行動を実践できる。5. デジタルシティズンシップの考え方を理解し、学内外のデジタル活動において適切な行動選択ができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、卒業要件科目である。基本的なITスキル・デジタルシティズンシップ概念を身に付け、社会人としての資質・能力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題の講評は授業内に実施する。練習課題については、操作ノートや制作物を学修ポートフォリオとして活用し、理解や試行錯誤の過程を踏まえたフィードバックを行う。また、課題によっては学生間でのフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし。資料は授業時に配布致します。

参考文献

Adobe CreativeCloudには様々なクリエイティブ情報やティップスが掲載されているので頻りにチェックしておくとい良いでしょう。他に必要があればその都度アナウンスします。

オフィスアワー・研究室

研究棟1階 6012B 情報基礎研究室

オフィスアワーについては初回授業時にお知らせします

備考

システム課より発行されたIDとパスワードが必要となるので授業時に忘れないで下さい。授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスします。サポートを行なっているので、積極的に利用して下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 水越	ガイダンス/Photoshop概要、アカウント設定、基本操作/操作ノートの記録	復習:基本操作を操作ノートに整理する。	90分
2回 水越	Photoshop基礎 レイヤー、ツール、パネル操作、着色系操作/操作ノートの記録	予習:Photoshopの基礎操作について参考動画・資料を確認する。	90分
3回 水越	Photoshop基礎 選択ツール、マスク、消しゴム、変形/操作ノートの記録	予習:選択ツール・マスク・変形について調べる。	90分
4回 水越	Photoshop基礎 ペンツール、レタッチ、フィルター/操作ノートの記録	予習:ペンツールやレタッチ表現について調べる。	90分
5回 水越	Photoshop応用 テクスチャ表現、コラージュ表現/操作ノートの記録	予習:コラージュ表現の事例を調べる。	90分
6回 水越	Photoshop確認課題 コラージュ制作、ルーブリック提示と確認	予習:課題で使用する素材や表現方法を検討する。	90分
7回 水越	Photoshop確認課題 コラージュ制作	予習:コラージュ作品を完成させる。	90分
8回 水越	Photoshop確認課題 制作物の共有・ピアフィードバック・振り返り	復習:制作過程や気づきを学修ポートフォリオにまとめる。	90分
9回 水越	Illustrator基礎 画面構成、ツール、図形描画、線と色、文字ツール/操作ノートの記録	予習:Illustratorの基本操作について参考資料を確認する。	90分
10回 水越	Illustrator基礎 パス操作、ペンツール、トレース基礎/操作ノートの記録	予習:パス操作・トレースの基礎を調べる。	90分
11回 水越	Illustrator基礎 トレース応用、構成の調整、ハンガーイラスト制作/操作ノートの記録	予習:Illustratorによる図形・構成表現を確認する。	90分
12回 水越	Illustrator基礎 イメージボード制作(配色、構成、クリップングマスク)/操作ノートの記録	予習:イメージボードの構成や配色事例を調べる。	90分
13回 水越	まとめ課題 既存ブランドロゴの調査・分析、オリジナルロゴ構想	予習:既存ブランドのロゴを調査し、特徴を整理する。	90分
14回 水越	まとめ課題 ロゴ制作(手描き、スキャン、Illustratorによるトレース)	予習:オリジナルロゴの下絵を準備する。	90分
15回 水越	まとめ課題 制作物の共有・ピアフィードバック、振り返り	復習:制作物と学期全体の学修を振り返り、学修ポートフォリオとしてまとめる。	90分

社会人基礎

赤木 久美子

服飾文化学科 1年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

授業担当者の、企業での人材育成における実務経験を活かし、多様化の進む社会の中で、自身の強みを活かし活躍するために必要な力を育成するため、講義のみならず、グループワークやディスカッションを多く取り入れた参加型の授業を行います。社会に必要な「多様性を受け入れる力」「自分の考えを伝える力」「協力してイノベーションを起こす力」を、言語的、数学的、論理的等、様々なアプローチにより講義し、さらに学生自身が体験することで理解を深め、再現性を高めます。

到達目標 (学修成果)

自身の強みを活かし、社会で多様な人々と関わり、活躍するために必要な基礎的能力(コミュニケーション力、言語的能力、数学的思考力、論理的思考力)を理解し、修得することを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門必修科目の卒業認定科目です。
社会人基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎授業内で、前回の質問・感想のフィードバックをし、最終回に総合課題の解説を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行に合わせてプリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

連絡研究室：教務課(本校舎1階) 出講日：水曜日

備考

授業内容は、進度により、日程及び内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 赤木	オリエンテーション、授業計画、社会の変化と必要とされる能力について	予習：シラバスを確認し、授業の概要を把握する	30分
2回 赤木	コミュニケーション力 (コミュニケーションタイプ)	復習：自分自身や身近な人のコミュニケーションの特徴を考える	30分
3回 赤木	自己分析 (価値観・興味・能力) ワークショップ・ディスカッション	復習：自己理解を深めるためのポイントを確認する	30分
4回 赤木	自己分析 (性格・人物特性) ワークショップ	復習：自己理解を深めるためのポイントを確認する	30分
5回 赤木	プレゼンテーション (伝わる文章構成法「PREP法」)	復習：自己PR文を作成する	60分
6回 赤木	印象管理(メラビアンの法則) ワークショップ	復習：自己PR文を完成させる	60分
7回 赤木	プレゼンテーション (スピーチのポイント)	復習：1分間スピーチを練習する	30分
8回 赤木	1分間スピーチの実施 (自己PR)	復習：フィードバックシートを確認する	30分
9回 赤木	コミュニケーション力 (聴く力)	復習：コミュニケーションの課題と改善ポイントを確認する	30分
10回 赤木	コミュニケーション力 (伝える力)	復習：コミュニケーションの課題と改善ポイントを確認する	30分
11回 赤木	ディスカッションの目的とポイント ワークショップ	復習：チームディスカッションでの課題と改善ポイントを確認する	30分
12回 赤木	コミュニケーション力 (書く・読む)	復習：手紙の書き方のポイントを確認する	30分
13回 赤木	目標達成のための論理的思考法 (SMARTの法則・PDCAサイクル)	復習：目標を具体的にする	30分
14回 赤木	まとめ	復習：全配布資料を確認する	60分
15回 赤木	課題のフィードバックを行う	復習：自身の課題を確認する	30分

心理学 A

手島 陽介

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるよう幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、ディスカッションなど、体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

到達目標 (学修成果)

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Aのまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

参考文献

蓮見将敏ほか (編) 『人間関係の心理学』 福村出版
二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社

オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室 後期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 (研究棟 1階 6015)

備考

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の入り口をのぞいてみる (心理学の定義・研究分野・意識と無意識)	予習：心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	30分
2回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の広がりや歴史的に紐解く	復習：プリントを振り返り、日常の心理現象について考える	30分
3回 手島	わたしの性格はどうできている？ 性格の心理学 (パーソナリティ理論・遺伝と環境・性格心理テスト体験)	復習：パーソナリティテストの結果を見て、自身の現在の状況について振り返る	30分
4回 手島	人はどうやって成長するのか？ (子ども編) 発達段階理論・乳幼児期～児童期	予習：誕生してから現在までどのような発達経過を辿ってきたのかを考えてくる	30分
5回 手島	「自分らしさ」はいつできるのか？ (思春期・青年期編) 青年期の発達課題・アイデンティティ	復習：エリクソンの発達段階説をもとに現在の自分の課題について考える	30分
6回 手島	やる気のスイッチはどこにある？ モチベーションの心理学 (内発、外発的動機づけ・ストレス社会との関係)	復習：自身の身の回りのストレスについて考えコーピング方法を検討する	30分
7回 手島	うまく伝わらないのはなぜ？ コミュニケーションの心理学	復習：非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
8回 手島	どうして覚えられない？ どうして忘れる？ 記憶の構造・学習理論・記憶の歪み	復習：本日の資料と教科書を振り返り、学習の心理を復習し理解する。	30分
9回 手島	「感情」はどこから生まれるのか？ 感情理論・感情の分類と表出	予習：ここ最近に感じる感情について、出来事との関連を考えてくる	30分
10回 手島	イライラは悪いこと？ 欲求不満とこころの防衛 (ストレス理論・欲求・自我防衛機制)	復習：身の回りのストレスについて考え、コーピングを試してみる	30分
11回 手島	集団の中のわたしたち 集団心理学・社会的促進・リーダーシップ	復習：集団の心理的現象について振り返り日常の中での影響について考える	30分
12回 手島	「色」はなぜ心を動かすのか？ 色彩心理学と服飾分野 (色の心理的影響・視覚・服飾との関係)	復習：インテリアや服など周りの色を観察し、心理的影響について考察する	30分
13回 手島	自分の「強み」ってどう見つける？ 自己理解の心理学 (自己概念・無意識・自己一致と不一致)	復習：授業プリントを振り返り、再度自分の強みについて振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Aの振り返りとフィードバック	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

心理学 B

手島 陽介

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

基礎心理学を中心に概説した「心理学A」から、本講義「心理学B」では応用心理学を中心に概説する。ディスカッションを通して体験的に学び、心理学的な知見がどのように社会場面に活かされているのかを学習していく。心理学に親しみながら、知識を身につけるとともに、自己理解、他者理解を深めていく。

到達目標 (学修成果)

本講義を通し、論理的な思考力を養い、さまざまな見方や柔軟な行動ができるようになることを目指していく。また、学習したことを、日常生活や社会場面の中で具体的に活用できるようになることが到達目標である。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Bのまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

参考文献

蓮見将敏ほか (編) 『人間関係の心理学』 福村出版
二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社

オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室 後期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 (研究棟 1階 6015)

備考

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 手島	第一印象はなぜ決まる？ (心理学とは何か) 対人認知・印象形成・意識と無意識	予習：身近な心理的な現象について考えてくる	30分
2回 手島	「好き」はどのように生まれるのか？ (心理学とは何か) 対人魅力・恋愛心理学・推し活・人間関係の心理学	復習：プリントを振り返り、対人認知の心理について理解する	30分
3回 手島	人はなぜ影響されるのか？ 社会的影響・説得・交渉・CMや広告	習：他者からの影響を受けた経験について振り返り要因を探る	30分
4回 手島	「買いたくなる」のはなぜ？ 消費者心理・購買の心理学・ビジネス場面の影響理論	復習：実際のCMや広告などでメディアによる心理的影響について考える	30分
5回 手島	私たちは本当に正しく「見えている」のか？ 知覚の心理学・感覚器官のしくみ・錯視	復習：教科書とプリントより、錯視や幾何学図形を見て知覚を振り返る	30分
6回 手島	音楽はなぜ心と行動を変えるのか？ 音楽心理学・脳と音の関係・音楽療法を体験	予習：身の回りの音楽や店舗のBGM、環境音などについて調べてくる	30分
7回 手島	「考える」って何だろう？ (思考の心理学) 思考の心理学・問題解決・思考プロセス	予習：問題を解決した、乗り越えた場面について考えてくる	60分
8回 手島	創造性は才能？それとも努力？ (思考の心理学) 創造性理論・創造的パーソナリティ・創造の段階	復習：創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	30分
9回 手島	犯罪はなぜ起こるのか？ 犯罪心理学・サイコパス・法と心理学・事件を読み解く	復習：配布プリントを振り返り、犯罪心理学の定義やデータについて確認する	30分
10回 手島	「こころが健康」ってどういう状態？ 精神的健康・ウェルビーイング	予習：現在の自分の健康状態について考えてくる	30分
11回 手島	心と身体はつながっている？ 心身相関・認知・感情・行動の相互作用	復習：心のモデルに、様々な状況を当てはめて考える	30分
12回 手島	整える力を身につける (健康心理学) ストレス理論・呼吸法・睡眠とメンタルヘルス	復習：呼吸について、日常で体験をする	30分
13回 手島	幸せはどこから生まれるのか？ 主観的幸福感・文化差・人間関係	復習：世界の幸福感についてのデータを振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Bの振り返りとフィードバック	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

文学

伊藤 高広

服飾文化学科 1年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本の古典文学(現代語訳)を読んで、その思想、文化的背景を概説します。授業では毎時間ノートを作ってもらいます。単にノートをとるのではなく、積極的にノートを作成していくことで、多様な情報を自分なりに整理する訓練とします。毎時間20分程度、日本各地に残る様々な民俗芸能を紹介します。地域の文化を守り伝えている人たちがいるということを知ってほしいと思います。

到達目標(学修成果)

古典文学を通して、広く日本の精神や文化に触れ、多様な視点を持つことができる。日本の文化を、教養という垣根を超えて、もっと身近なものとして感じてもらいたい。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は教養科目(一般)の選択で卒業要件単位となります。幅広く深い教養と豊かな人間性を涵養するための科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回ノートを集めます。課題等の評価を付して返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布する。

参考文献

授業内で適宜指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室(研究棟1階)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	概説	予習 シラパスを読んでおく	30分
2回 伊藤	鬼について 中世の説話から 鬼はどこにいる?	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
3回 伊藤	武士について 中世の説話から リアルな武士像	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
4回 伊藤	武士について 平家物語から つくられた武士像	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
5回 伊藤	呪術について 中世の説話から 超能力?	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
6回 伊藤	女性について 中世の説話から なぜか強い女性	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
7回 伊藤	庶民の生活 中世の説話から 庶民が起こすちょっとした犯罪	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
8回 伊藤	死者の世界 古代・中世の説話から 死んだらどうなる	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
9回 伊藤	神について 中世の説話から 神はこわいもの	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
10回 伊藤	神について 日本神話から 古事記の神々 いざなぎ・いざなみ	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
11回 伊藤	神について 日本神話から 古事記の神々 あまてらす・すさのお	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
12回 伊藤	神について 日本神話から 古事記の神々 おおくにぬし	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
13回 伊藤	妖怪について 近世・近代の記録から 江戸時代の妖怪ブーム	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
14回 伊藤	妖怪について 遠野物語から 山人 かっぱ ざしきわらし	復習 資料を参考にノートを整理する	30分
15回 伊藤	世界について 根底にあるもの	本を読もう 芸能を見に行こう	120分

日本美術史

小林 紗由里

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

この授業では日本美術史の基本的な流れを紹介しつつ、多様なジャンルの作品を取り上げます。授業担当者の実務経験を活かし、国内の美術館におけるコレクションや関連する展覧会情報も紹介しながら授業を進めていきます。

到達目標 (学修成果)

日本美術史の基本的な見方や時代背景を知り、作品について様々な角度から考察できるようになることを目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の選択科目です。学芸員免許取得のための学芸員課程必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

期末レポートの内容を添削・評価後、適宜個別フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じて資料を提示します。

参考文献

山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』(美術出版ライブラリー 歴史編)美術出版社、2014年

山本浩貴『現代美術史 欧米、日本、トランスナショナル』中央公論新社、2019年

オフィスアワー・研究室

連絡や質問等は教務課へお願いします。前期後期：水曜日 連絡先：本校舎1階教務課

備考

授業の計画に関しては、進行速度や見学先の都合などにより変更の可能性もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 小林	オリエンテーション：授業計画・参考文献の紹介など。	シラバスを読んでおいて下さい。	30分
2回 小林	縄文文化と弥生文化	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
3回 小林	奈良時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
4回 小林	平安時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
5回 小林	鎌倉時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
6回 小林	室町・桃山時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
7回 小林	江戸時代の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
8回 小林	明治期の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
9回 小林	大正期の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
10回 小林	昭和前期の美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
11回 小林	戦後の美術1：前衛芸術の展開	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
12回 小林	戦後の美術2：概念芸術の展開	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
13回 小林	戦後の美術3：写真・映像表現の展開	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
14回 小林	現代の美術1：サブカルチャーと美術	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分
15回 小林	現代の美術2：アート・プロジェクト/芸術祭の発展	復習：授業で関心を持った作品について、参考文献等で知識を深める。	30分

西洋美術史

佐倉 香

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

西洋美術史の代表的な諸作例を時代に沿って概観し、言葉によらない主に視覚的な表現としての美術がもつ意義の歴史的な変遷を辿ります。毎回スライドの画像や動画等を使用して、時代や様式の特徴、美術表現の見方について学んでゆきます。主題や時代・地域的背景、デザイン、材料・技法その他の側面から作例を立体的に捉えて解説し、毎回の内容に関する見解を参加者が互いに示しながら、美術表現が孕む様々な力や可能性を探求します。美術館見学で授業に関連する作品を実際に鑑賞し、各自の考察を述べ合う機会も設けたいと思います。

到達目標(学修成果)

西洋の美術史や美術表現に関する基礎的な知識を習得する。

美術表現の見方を自分なりに理解、確立する。

その知識と理解に基づいて、関心を抱いた美術表現を独自に鑑賞・考察し、さらなる発展、発信へと繋げることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目の卒業要件単位、学芸員課程必修科目です。古今の美術表現や装飾の変遷とその時代背景等に関する造詣は、服飾に関しても本質的かつ重要な一要素として活かされるものです。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

15回目に小レポートと小テストを返却あるいは解説予定。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

千足伸行監修、『新西洋美術史』、西村書店。

また、授業で随時参考プリントを配布します。

参考文献

秋山聰・田中正之監修、『西洋美術史』、美術出版社、2021. 等

その他、必要に応じて授業で紹介します。

オフィスアワー・研究室

前期：水曜日(12時10分～12時50分)第3校舎1階講師控室、または本校舎1階教務課

後期：水曜日(14時15分～14時35分)第3校舎1階講師控室、または本校舎1階教務課

備考

毎回テキストを持参してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 佐倉	【ガイダンス】講義の概要と文献、また美術表現の見方について、古今の美術表現を取り上げつつ説明する。	シラバスをよく読む。自分なりの効果的な受講法を考える。	30分
2回 佐倉	【先史時代～中世】西洋美術の基盤となる古代エジプト、ギリシア、ローマの美術。中世における宗教的美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
3回 佐倉	【ルネサンス、マニエリスム】15-16世紀、文化史の大きな転換点、イタリア・ルネサンスを中心に。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
4回 佐倉	【バロック、ロココ】17-18世紀の西欧各地における美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
5回 佐倉	【新古典主義、ロマン主義】18世紀末-19世紀前半における美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
6回 佐倉	【リアリズム】19世紀中頃の、美醜を問わず現実の諸相を表現した写実的美術について。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
7回 佐倉	【見学会】美術館を訪れて作品を鑑賞し知識、関心を深め、考察をまとめる(日程や形式は変更の可能性もある)。	美術館のサイト等で下調べを行う。考察をまとめた見学レポートを作成。	60分
8回 佐倉	【印象主義】19世紀後半の革命的絵画運動であった印象主義の美術。アカデミズムとの対立や人々の反応など。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
9回 佐倉	【後期印象主義、新印象主義】19世紀末における、印象主義後の展開と影響。新しい個性の登場。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
10回 佐倉	【象徴主義、アール・ヌーヴォー】19世紀末-20世紀初頭にかけての、精神性、装飾性などを特徴とする美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
11回 佐倉	【フォービズム、エコール・ド・パリ】20世紀初頭の、自由な色彩に特徴をもつ美術を中心に。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
12回 佐倉	【キュビズム】20世紀初頭における、形や構図に特徴をもつ美術を中心に。また「抽象」について。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
13回 佐倉	【ドイツ表現主義、ダダ、シュールレアリスム、戦後の美術】多様な内面表出、二度の大戦後現在までの諸相。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追究。	30分
14回 佐倉	【まとめ】西洋美術の歴史を各回のテーマとともに振り返り、知識を確認し、各自の考察をまとめる。	テキスト、配布物の総復習。任意のテーマについて探究し考察をまとめる。	120分
15回 佐倉	【フィードバック】知識と考察の総復習を行うとともに、現在の自分を取り巻く美術世界を考える。	評価から自らの理解を見直し、今後の応用について考える。	30分

憲法

東島 日出夫

服飾文化学科 1年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

この科目では、憲法について学ぶことを主としつつ、法学の入門的位置づけともなるよう工夫しながら授業を進めていきます。授業計画に掲げている様々な項目はもとより、近年話題を集めるトピックなどで、憲法学と関連し得る内容について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深められるようにします。関連する条文および解釈に関する知識を身につけつつ、法的な思考が養えることを目的とします。

到達目標(学修成果)

「憲法」や「法学」というと、堅苦しくて難しいものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした印象を払拭すべく、身近に起きている様々な事件などを素材に、法的にどのように理解したらよいか、わかりやすく説明します。また、自らも考えることで、能力、資質の向上をも目指し、将来社会人として生活していくうえで、役に立つような法的知識が得られることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目です。なお、教員免許状取得を目指す人にとっては、教職課程必修科目となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

14回目に試験、15回目に試験の解説をします。また、毎回リアクションペーパーの提出を求めますが、そこに書かれた質問等に回答します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回資料を配布します。

参考文献

- ・ 芦部信喜『憲法(第8版)』(岩波書店、2023年)・初宿正典、大沢秀介他『目で見る憲法(第5版)』(有斐閣、2018年)
- ・ 渋谷秀樹、赤坂正浩『憲法1人権(第8版)』(有斐閣、2022年)・『憲法2統治(第8版)』(有斐閣、2022年)

オフィスアワー・研究室

連絡先:教務課(本校舎) 出講日:金曜日

備考

10回以上出席することを必須とします(10回以上の出席がないと試験を受けても不合格となります)。成績評価は、試験の結果を主としますが、授業態度・姿勢、リアクションペーパーの記載内容等も加味します。授業内容の理解を深めるため、授業資料をもとに必ず予習、復習をしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 東島	ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説	シラバスの確認、憲法条文の印刷 (電子政府e-Govサイトで無償入手可)	30分
2回 東島	立憲主義、国民主権、平和主義	授業資料の予習と復習	45分
3回 東島	人権論概説、基本的人権、人権享有主体	授業資料の予習と復習	45分
4回 東島	基本的人権の限界	授業資料の予習と復習	45分
5回 東島	生命・自由・幸福追求権	授業資料の予習と復習	45分
6回 東島	法の下の平等	授業資料の予習と復習	45分
7回 東島	経済的自由権	授業資料の予習と復習	45分
8回 東島	精神的自由権 - 内心の自由 -	授業資料の予習と復習	45分
9回 東島	精神的自由権 - 表現の自由 -	授業資料の予習と復習	45分
10回 東島	人身の自由 - 刑事手続き -	授業資料の予習と復習	45分
11回 東島	人身の自由 - 裁判を受ける権利 -	授業資料の予習と復習	45分
12回 東島	社会権 - 生存権、教育権 -	授業資料の予習と復習	45分
13回 東島	社会権 - 勤労権、労働基本権 -	授業資料の復習	45分
14回 東島	試験	授業資料の復習	90分
15回 東島	試験の解説、補論	試験問題の振り返り	45分

ファッションの基礎知識

数井 靖子

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業は、ファッションを学ぶ第一歩として、販売・デザイン・スタイリングなど、さまざまな分野で活かせる基礎知識を身につけることを目的とします。実物の衣服や映画・雑誌・音楽を通して、コーディネート（着こなし）の基本、スタイルやイメージ、アイテムの名称や特徴を学び、ファッションを多角的に捉える視点を養います。

到達目標（学修成果）

スタイル・イメージ・アイテム名などの基礎知識を習得し、それぞれの特徴を理解し、販売・デザイン・スタイリングなど多様な分野に応用できる力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の専門選択科目の単位となります。ディプロマポリシーでは、服飾関係の専門的職業で活かせるような基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出されたノートに対してはコメントをして返却します。適宜Campus musicを利用することもあります。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業時に案内します

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：授業初回にお伝えします 研究室：研究棟2階6025教室

備考

進展により授業計画が変更になる場合もあります。その場合は事前にお伝えします。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 数井	オリエンテーション	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
2回 数井	ファッションイメージからのコーディネート	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
3回 数井	ファッションイメージからのコーディネート	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
4回 数井	ファッションアイテム トップス	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
5回 数井	ファッションアイテム ボトムス	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
6回 数井	ファッションアイテム デテール&素材	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
7回 数井	ファッションアイテム バッグ・帽子・アクセサリ	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
8回 数井	ファッションブランド・デザイナーについて	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
9回 数井	コーディネートのバリエーション 1950年代ファッション	復習：授業内容をノートにまとめる、関連映像を観る	120分
10回 数井	コーディネートのバリエーション 1960年代ファッション	復習：授業内容をノートにまとめる、関連映像を観る	120分
11回 数井	コーディネートのバリエーション 1970年代ファッション	復習：授業内容をノートにまとめる、関連映像を観る	120分
12回 数井	コーディネートのバリエーション 1980年代ファッション	復習：授業内容をノートにまとめる、関連映像を観る	120分
13回 数井	コーディネートのバリエーション 1990年代ファッション	復習：授業内容をノートにまとめる、関連映像を観る	60分
14回 数井	ファッション雑誌について	復習：授業内容をノートにまとめる	60分
15回 数井	これからのファッションについて	復習：授業内容をノートにまとめる	60分

体育(スポーツ・ウェルネス)

吉宇田 和泉

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

運動は、身体的・精神的・社会的な健康および体力の保持増進において重要な役割を持ち、年齢を問わず生涯にわたって趣味や生きがいとして親しむことは、豊かな人生の実現に重要である。本授業は、生涯にわたって運動やスポーツを通じた心身の健康習慣の獲得を目指すとともに、豊かな人生を送る基盤の形成をねらいとする。運動・スポーツの基礎的なスキルやマナーなどの習得とともに、運動を通じた他者とのコミュニケーションを深める楽しさに触れられるよう授業を展開する。スポーツが私たちの日常生活や健康にどのように関わっているのか、座学や体験を通じて理解を深めていく。

到達目標(学修成果)

- ・運動不足を解消し、日常生活を快適に過ごすための基礎体力(筋力、持久力、柔軟性)を高める。
- ・身体だけでなく精神的社会的健康の維持増進のための運動・スポーツについて、自分だけでなく仲間・友人の健康維持への貢献の仕方について理解する。
- ・体を動かす楽しさ、爽快感、達成感の体験を通じて運動と日常生活や健康とのつながりを理解し、運動習慣の確立を目指す。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目であり、教員免許取得希望者は前期または後期のいずれかで単位を取得する必要がある。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回リフレクションシートの提出を求める。その内容や質問等について、次の授業内容に反映させたり解説したりして対応する。必要に応じてmanabaを通じて資料等をフィードバックする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

参考文献

授業内で紹介する。

オフィスアワー・研究室

木曜日12時00分～16時30分

備考

授業のねらいを達成するために、履修者の状況に合わせて授業内容を一部変更したり順番を入れ替えることがある。体力や技術レベル、運動経験の有無は問わない。体を動かすことに対してチャレンジする姿勢、仲間を大切にし共に楽しむ態度で授業に参加すること。運動に適した服装や靴の他、必要に応じてヨガマットまたはバスタオルなどを各自用意する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 吉宇田	ガイダンス、運動に臨むための心と体の準備	シラバスの内容を確認しておく。次回までに体を動かすことを意識すること。	30分
2回 吉宇田	ストレッチの基本を理解し、体をほぐす。 コーディネーショントレーニングで体の使い方や癖を確認する	体を動かすことを意識して過ごす。	30分
3回 吉宇田	バドミントン サーブ、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなどの基本の打ち方	バドミントンの競技特性やルールについて調べる。日常的な運動を意識する。	30分
4回 吉宇田	バドミントン ルールを理解し、ゲーム形式での練習	バドミントンの楽しさとは何か振り返る。日常的に運動を行うようにする。	30分
5回 吉宇田	バドミントン リーグ戦	スムーズな試合進行のポイントをまとめる。日常的に運動を行うようにする。	30分
6回 吉宇田	バレーボール オーバー、アンダー、サーブ、ルールの確認	バレーボールの競技特性やルールについて調べる。日常的に運動を行うようにする。	30分
7回 吉宇田	バレーボール ラリーとミニゲーム	バレーボールにおける楽しさの共有の方法について考える。日常的な運動を意識する。	30分
8回 吉宇田	バレーボール ゲーム(リーグ戦)	公平なチーム編成や試合進行の工夫について考える。日常的な運動を意識する。	30分
9回 吉宇田	アルティメット スローとキャッチ	アルティメットの競技特性やルールについて調べる。日常的に運動を行うようにする。	30分
10回 吉宇田	アルティメット ミニゲーム	全員で楽しむためのルール作りについて考える。	30分
11回 吉宇田	バスケットボール ボールの扱い方、シュート、パス、ドリブル	バスケットボールの競技特性やルールについて調べる。日常的に運動を行うようにする。	30分
12回 吉宇田	バスケットボール 基本的な戦術:1対1、2対2、3対3	全員で楽しむためのルール作りやチーム編成について考える。	30分
13回 吉宇田	バスケットボール ゲーム(リーグ戦)	スムーズな試合進行のための準備やサポートの重要性について考える。	30分
14回 吉宇田	スポーツ大会を企画しよう	前期で学んだことをまとめておく。	30分
15回 吉宇田	スポーツ大会やってみよう	前期で学んだことを実践したことを振り返りまとめる。	30分

体育(スポーツ・フィットネス)

吉宇田 和泉

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

運動は、身体的・精神的・社会的な健康、および体力の保持増進において重要な役割を持ち、年齢を問わず生涯にわたって趣味や生きがいとして親しむことは、豊かな人生の実現に重要である。本授業は、生涯にわたって運動やスポーツを通じた心身の健康習慣の獲得を目指すとともに、豊かな人生を送る基盤の形成をねらいとする。

心身を整えていくためのエクササイズについて理論的理解と体験を通じ、自分の状態に気づき、自分に合った運動について考えられるよう授業を展開する。また、運動・スポーツの持つ社会的意義についても考えを深められるようにする。

到達目標(学修成果)

- ・日常生活を快適に過ごすための基礎体力(筋力、持久力、柔軟性)を高める。
- ・自分の状態に適した運動を選択する力を習得し、日常的に実践する能力を獲得する。
- ・運動の身体的精神的社会的価値について、体験を通じて学び、生涯を通じた健康維持増進のため運動習慣の基盤を作る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目であり、教員免許取得希望者は前期または後期のいずれかで単位を取得する必要がある。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回リフレクションシートの提出を求める。その内容や質問等について、次の授業内容に反映させたり解説したりして対応する。必要に応じてmanabaを通じて資料等をフィードバックする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

参考文献

授業内で紹介する。

オフィスアワー・研究室

木曜日12時00分～16時30分

備考

授業のねらいを達成するために、履修者の状況に合わせて授業内容を一部変更したり順番を入れ替えることがある。体力や技術レベル、運動経験の有無は問わない。体を動かすことに対してチャレンジする姿勢、仲間を大切にし共に楽しむ態度で授業に参加すること。運動に適した服装や靴の他、必要に応じてヨガマットまたはバスタオルなどを各自用意する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 吉宇田	ガイダンス、アイスブレイク	シラバスを確認する。	30分
2回 吉宇田	姿勢の評価と改善のためのエクササイズ	自分の姿勢について意識しながら過ごすこと。	30分
3回 吉宇田	背骨と呼吸を整えよう	姿勢と呼吸の関係について意識して過ごすこと。	30分
4回 吉宇田	柔軟性の重要性とストレッチの基本	日常にストレッチを取り入れて過ごすこと。	30分
5回 吉宇田	首や肩の動きチェックとエクササイズ	日常生活にある肩こりや首狐狸の原因を考える。	30分
6回 吉宇田	体幹の動きチェックとエクササイズ	体幹のしなやかさと強さが日常生活に与える影響を考える。	30分
7回 吉宇田	股関節の動きチェックとエクササイズ	座位時間の長さや健康とのかかわりについて調べる。	30分
8回 吉宇田	バランスエクササイズ	意識的に体を動かすように過ごすこと。	30分
9回 吉宇田	リズムエクササイズ	音楽やリズムが運動や日常生活に与える影響について考える。	30分
10回 吉宇田	エアロビックダンス 基本のステップ	有酸素運動の定義と種類について調べる。	30分
11回 吉宇田	エアロビックダンス 2×8のシンメトリーエクササイズ	有酸素運動の短期的・長期的効果について調べる。	30分
12回 吉宇田	エアロビックダンス 4×8のシンメトリーエクササイズ	有酸素運動の強度や時間について理解する。	30分
13回 吉宇田	レクリエーションスポーツ インディアカ、ソフトバレーボール	レクリエーションスポーツとは何か調べる。	30分
14回 吉宇田	レクリエーションスポーツ アルティメット	参加者が楽しめるルールについて考える。	30分
15回 吉宇田	レクリエーションスポーツ ミニ大会、まとめ	参加者が参加しやすいスポーツイベントとは何か考える。	30分

日本語表現

伊藤 高広

服飾文化学科 1年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじめて、短い文章を書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

到達目標(学修成果)

正確な日本語で短文を書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

改訂版 大学・大学院留学生の日本語 作文編 (アルク)

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室(研究棟1階)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	授業の方針・概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	作文の基本 表記 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	作文の基本 書きことば 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	作文の基本 表記・書きことばの練習(確認) 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	作文の基本 段落 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	作文の基本 段落(確認) 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	作文の基本 主語になることば 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	作文の基本 文の構成 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	作文の基本 文の構成(確認) 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	小まとめ 確認と作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
11回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
12回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	前期のまとめ 段落構成のある作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語表現

伊藤 高広

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本語表現 に引き続き、本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
 前期で学習した表現の練習をくりかえし行います
 後期は日本の生活文化の講義も兼ねます 講義内容を文章にまとめたりします
 翻訳ソフトを活用しながらでもよいので、ある程度のまとまった分量の文章を書きます

到達目標（学修成果）

正確な日本語でレポートを書けるようになる
 論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
 社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

前期と同じ

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
 文章表現研究室（研究棟1階）

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	後期授業の概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	説明文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	説明文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	比較しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	比較しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	引用しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
11回 伊藤	引用しながら書く	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
12回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	まとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

英語（総合）

草場 千紘、伊藤 怜子、小田 恭子

服飾文化学科 1年 前期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

基本的な英語の語彙や文法を確認し、リーディングとリスニングの練習をします。オフィスを舞台にしたストーリー展開になっているテキストを使用するので、ビジネス英語の基礎も学ぶことができます。あわせて、読解演習として、ココ・シャネルの伝記を読み、英文に親しみながらファッション・デザイナー、ココ・シャネルについても学び、グループディスカッションを通して内容の理解を深めます。

到達目標（学修成果）

音読や筆写といった着実な英語学習の方法が定着する。基本的な文法が確認できる。ビジネスに関する基本的な単語や表現が習得できる。ビジネスでの会話に使える平易な英語表現が習得できる。読解は、英文の構造を理解した上で、その文の意味をとることができる。パラグラフごとの要約ができるようになる。以上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての英語（総合）は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

JACET 教材開発研究会 著 English Locomotion (SEIBIDO)
ココ・シャネルの人生 プリント配布

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟3階）
【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

備考

特になし。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明	【予習】シラバスを読む。【復習】授業に必要なものを準備する。辞書など。	30分
2回 各自	【総合】Unit 1 文型(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 1	【予習】Unit 1に目を通し、単語を調べる。【復習】英語の語順の復習。	30分
3回 各自	【総合】Unit 1 文型(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 1	【予習】Unit 1に目を通し、単語を調べる。【復習】文型の復習。	30分
4回 各自	【総合】Unit 2 自動詞と他動詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 2	【予習】Unit 2に目を通し、単語を調べる。【復習】命令文の復習。	30分
5回 各自	【総合】Unit 2 自動詞と他動詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 2	【予習】Unit 2に目を通し、単語を調べる。【復習】自動詞・他動詞の復習。	30分
6回 各自	【総合】小テスト 【リーディング】復習	【予習】小テストの準備。 【復習】場所や時間をたずねる表現の暗記。	30分
7回 各自	【総合】Unit 3 現在形と頻度(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 3	【予習】Unit 3に目を通し、単語を調べる。【復習】現在時制の表現の復習。	30分
8回 各自	【総合】Unit 3 現在形と頻度(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 3	【予習】Unit 3に目を通し、単語を調べる。【復習】頻度の表現の復習。	30分
9回 各自	【総合】Unit 4 名詞と代名詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 4	【予習】Unit 4に目を通し、単語を調べる。【復習】名詞の復習。	30分
10回 各自	【総合】Unit 4 名詞と代名詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 4	【予習】Unit 4に目を通し、単語を調べる。【復習】代名詞の復習。	30分
11回 各自	【総合】Unit 5 前置詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 5	【予習】Unit 5に目を通し、単語を調べる。【復習】場所を表す前置詞の復習。	30分
12回 各自	【総合】Unit 5 前置詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 5	【予習】Unit 5に目を通し、単語を調べる。【復習】時を表す前置詞の復習。	30分
13回 各自	【総合】Unit 6 助動詞 【リーディング】復習	【予習】Unit 6に目を通し、単語を調べる。【復習】助動詞の復習。	30分
14回 各自	【総合】復習 【リーディング】復習	【予習】まとめ課題の準備。	30分
15回 各自	まとめ、課題のフィードバック	【復習】課題まとめ	30分

英語（総合）

草場 千紘、伊藤 怜子、小田 恭子

服飾文化学科 1年 後期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

英語（総合）（前期）に引き続き、基本的な英語の語彙や文法を確認し、リーディングとリスニングの練習をします。オフィス舞台にしたストーリー展開になっているテキストを使用するので、ビジネス英語の基礎も学ぶことができます。あわせて、読解演習として、ココ・シャネルの伝記を読み、英文に親しみながらデザイナー、ココ・シャネルについても学び、グループディスカッションを通し理解を深めます。

到達目標（学修成果）

音読や筆写といった着実な英語学習の方法が定着する。基本的な文法が確認できる。ビジネスに関する基本的な単語や表現が習得できる。ビジネスでの会話に使える平易な英語表現が習得できる。読解は、英文の構造を理解した上で、その文の意味をとることができる。パラグラフごとの要約ができるようになる。以上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての英語（総合）は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

JACET 教材開発研究会 著 English Locomotion (SEIBIDO)
ココ・シャネルの人生 プリント配布

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室（研究棟3階）
【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

備考

特になし。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明	【予習】シラバスを読む。【復習】授業に必要なものを準備する。辞書など。	30分
2回 各自	【総合】Unit 7 不定詞と動名詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 6	【予習】Unit 7に目を通し、単語を調べる。【復習】動名詞の復習。	30分
3回 各自	【総合】Unit 7 不定詞と動名詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 6	【予習】Unit 7に目を通し、単語を調べる。【復習】不定詞の復習。	30分
4回 各自	【総合】Unit 8 現在分詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 7	【予習】Unit 8に目を通し、単語を調べる。【復習】現在分詞の復習。	30分
5回 各自	【総合】Unit 8 現在分詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 7	【予習】Unit 8に目を通し、単語を調べる。【復習】現在分詞の復習。	30分
6回 各自	【総合】小テスト 【リーディング】復習	【予習】小テストの準備。 【復習】場所や時間をたずねる表現の暗記。	30分
7回 各自	【総合】Unit 9 過去分詞(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 8	【予習】Unit 9に目を通し、単語を調べる。【復習】過去分詞の復習。	30分
8回 各自	【総合】Unit 9 過去分詞(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 8	【予習】Unit 9に目を通し、単語を調べる。【復習】過去分詞の復習。	30分
9回 各自	【総合】Unit 10 現在完了形(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 9	【予習】Unit 10に目を通し、単語を調べる。【復習】現在完了形の復習。	30分
10回 各自	【総合】Unit 10 現在完了形(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 9	【予習】Unit 10に目を通し、単語を調べる。【復習】現在完了形の復習。	30分
11回 各自	【総合】Unit 11 形容詞と比較(1) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 10	【予習】Unit 11に目を通し、単語を調べる。【復習】形容詞の復習。	30分
12回 各自	【総合】Unit 11 形容詞と比較(2) 【リーディング】The Story of Chanel: Chapter 10	【予習】Unit 11に目を通し、単語を調べる。【復習】比較表現の復習。	30分
13回 各自	【総合】Unit 12 関係代名詞 【リーディング】復習	【予習】Unit 12に目を通し、単語を調べる。【復習】関係代名詞の復習。	30分
14回 各自	【総合】復習 【リーディング】復習	【予習】まとめ課題の準備。	30分
15回 各自	まとめ、課題のフィードバック	【復習】課題まとめ	30分

基礎英会話

草場 千紘、伊藤 怜子、小田 恭子

服飾文化学科 1年 前期 選択必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日常生活の様々な場面で、基本的な英語を使ってコミュニケーションをする練習をします。特に、ファッションに関係のあるシチュエーションでの会話を練習するとともに、ファッションに関する単語や表現を学習します。リスニング・スピーキングを中心に練習します。

到達目標 (学修成果)

1. 日常生活の様々な場面で行なわれる英会話の定型表現を暗記し、自分の言葉として話せるようになる、2. ファッションに関する単語や表現を習得する、3. 英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる、の3点です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (外国語) 必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての基礎英会話は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業や学内システム経由で返却・解説します。スピーキングは、その都度、コメントをします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

小塚暁絵、川守田恭枝、コリンズ・キム園子(編) Forward Mode: English for Fashion Students

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

備考

特になし。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明、自己紹介	【予習】シラバスを読む。【復習】授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	MY NAME STORY 自分の名前についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】名前に関する表現の復習。	30分
3回 各自	DESCRIBING MYSELF 自分のパーソナリティについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】性格に関する表現の復習。	30分
4回 各自	MY FAVORITE FASHION ITEM ファッションアイテムや色についての会話	【予習】教科書に目を通す。【復習】アイテムや色に関する表現の復習。	30分
5回 各自	DESCRIBING FASHION ITEMS 服の模様・素材についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】模様等に関する表現の復習。	30分
6回 各自	DESCRIBING FASHION ITEMS 服の模様・素材についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】素材等に関する表現の復習。	30分
7回 各自	MY FAVORITE FASHION TREND ファッショントレンドについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】トレンドに関する表現の復習。	30分
8回 各自	MY FAVORITE FASHION TREND ファッショントレンドについての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】トレンドに関する表現の復習。	30分
9回 各自	FASHION AS MY IDENTITY アイデンティティについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】個性に関する表現の復習。	30分
10回 各自	FASHION AS MY IDENTITY アイデンティティについての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】個性に関する表現の復習。	30分
11回 各自	THE IMPORTANT THINGS 自分の大切なものについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】宝物に関する表現の復習。	30分
12回 各自	THE IMPORTANT THINGS 自分の大切なものについての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】宝物に関する表現の復習。	30分
13回 各自	WHAT I LEARNED FROM OTHERS 自分に影響を与えた人についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】人物に関する表現の復習。	30分
14回 各自	WHAT I LEARNED FROM OTHERS 自分に影響を与えた人についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】人物に関する表現の復習。	30分
15回 各自	まとめ、講評	【予習】これまでの授業内容の復習をする。【復習】授業のまとめの振り返りをする。	30分

基礎英会話

草場 千紘、伊藤 怜子、小田 恭子

服飾文化学科 1年 後期 選択必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

基礎英会話 に引き続き、ファッションに関係のあるシチュエーションでの会話を取り入れながら、日常生活の様々な場面での会話練習をしていきます。リスニング・スピーキングを中心に練習します。

到達目標 (学修成果)

1. 日常生活の様々な場面で行なわれる英会話の定型表現を暗記し、自分の言葉として話せるようになる、2. ファッションに関する単語や表現を習得する、3. 英語でプレゼンテーションやディスカッションができるようになる、の3点です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (外国語) 必修であり、卒業認定に必要な科目です。教養科目としての基礎英会話は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業や学内システム経由で返却・解説します。スピーキングは、その都度コメントをします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

小塚暁絵、川守田恭枝、コリンズ・キム園子(編) Forward Mode: English for Fashion Students

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【オフィスアワー】第1回の授業で提示します。

備考

特になし。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション、授業の説明	【予習】シラバスを読む。【復習】授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	MY FAVORITE PLACE お気に入りの場所についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】場所に関する表現の復習。	30分
3回 各自	TRANSPORTATION 交通手段・移動についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】交通手段に関する表現の復習。	30分
4回 各自	MY PASSION 自分が情熱を注いでいることについての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】情熱に関する表現の復習。	30分
5回 各自	FINDING MY INNER PEACE 感情をコントロールする方法についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】方法に関する表現の復習。	30分
6回 各自	FINDING MY INNER PEACE 感情をコントロールする方法についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】方法に関する表現の復習。	30分
7回 各自	MY FAVORITE LOCAL DISH 郷土料理についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】郷土料理に関する表現の復習。	30分
8回 各自	MY FAVORITE LOCAL DISH 郷土料理についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】郷土料理に関する表現の復習。	30分
9回 各自	MY FAVORITE POP CULTURE 文化についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】文化に関する表現の復習。	30分
10回 各自	MY FAVORITE POP CULTURE 文化についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】文化に関する表現の復習。	30分
11回 各自	MY PART-TIME JOB EXPERIENCES アルバイト経験についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】仕事に関する表現の復習。	30分
12回 各自	JOB INTERVIEWS 仕事についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】仕事に関する表現の復習。	30分
13回 各自	THE FASHION INDUSTRY 服飾業界についての会話	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】服飾業界に関する表現の復習。	30分
14回 各自	THE FASHION INDUSTRY 服飾業界についての会話 (続き)	【予習】教科書に目を通し会話の内容を考える。【復習】服飾業界に関する表現の復習。	30分
15回 各自	まとめ、講評	【予習】これまでの授業内容の復習をする。【復習】授業のまとめの振り返りをする。	30分

フランス語（総合）

福本 しのぶ

服飾文化学科 1年 前期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

ボンジュール！まずは挨拶から。テキストに沿って文法の基礎を学びながら、フランス語（会話）Iを理解できるようになり、フランス語の楽しさを実感できます。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

フランス語（会話）と共用

「Dis-moi tout! (ぜんぶ話して!)」(白水社)

参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」(白水社)

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日(12:20~12:50)第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い 基本のあいさつ	予習：シラバスを読む	30分
2回 2	アルファベ・筆記体・発音の決まり・つづり字	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	発音の決まり・つづり字	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	発音の決まり・つづり字	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	私は誰？ あなたの職業は？	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	フランスの賞味期限 ものの形	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	大好き！ 大嫌い！ 名詞・発音	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	どこで？ 誰と？ 何を？ 不定冠詞	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	だけど... でも...	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	持っている 持っていない 大きい/小さい	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	いる？ いない？ 数字	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	わたしの... あなたの...	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	家族を紹介しよう！	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	する？ しない？	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	夏休みの過ごし方	自分のフランスへの興味をまとめる	60分

フランス語（総合）

福本 しのぶ

服飾文化学科 1年 後期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

Bonjour et merci！フランス人は挨拶が大好きです。フランス語（会話）をより理解できるようにテキストに沿って文法の基礎を学びながら、フランス語を楽しみましょう。最後には簡単な文章を作成し、発表します。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

フランス語（会話）と共用

「Dis-moi tout!（ぜんぶ話して!）」（白水社）

参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」（白水社）

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランス語（総合）Iの復習	予習：これまでの授業を復習	30分
2回 2	夏休みどう過ごした？ 【過去を話す】	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	食べる 飲む	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	カフェ/レストランにて テーブルマナー	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	どこに行く？ どこから来た？【未来を話す】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	メトロに乗ってみよう！フランスの移動手段	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	フランス映画を見る	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	フランス映画を見る	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	やる？ 聞く？ 話す？ 読む？	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	習慣いついてたずねる/答える	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	可能性について	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	大学図書館でフランス語の資料を探そう！	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	昨日なにをした？	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	1日の行動を文章にしてみよう	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	これまでの内容を使ってフランス語でレポート発表！	レポートをまとめる	60分

フランス語（会話）

福本 しのぶ

服飾文化学科 1年 前期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

ボンジュール！まずは挨拶から。自然にフランス語を聞き分けられるよう、聞き取り力をつけるとともに、フランス語の発音を身につけ、自然にフランス語で挨拶、自己紹介ができるように頑張りましょう。出席すればするほど力が定着し、フランス語（会話）がより理解できるようになり、フランス語の楽しさを実感できます。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

フランス語（総合）と共用

「Dis-moi tout! (ぜんぶ話して!)」(白水社)

参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」(白水社)

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日(12:20~12:50)第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもあります。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受検希望者対象に随時補習を行っています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1	基本のあいさつ アルファベ・発音の決まり・つづり字	予習：シラバスを読む	30分
2回 2	アルファベ・発音の決まり・つづり字	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	発音の決まり・ルール【アクセント】	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	発音の決まり・ルール【フランス人らしく発音するには】	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	単語を増やそう【国名、国籍、職業】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	単語を増やそう・発音【曜日、月、季節、数字(1~20)】	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	単語を増やそう【名詞の性と数】	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	単語を増やそう【冠詞と人称代名詞、数字(21~60)】	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	単語を増やそう【否定系】	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	動詞 êtreとavoir【自己紹介/家族の紹介、数字(61~100)】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	動詞 -er動詞	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	動詞を増やそう	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	家族を紹介しよう!	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	フランスの記念日	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	夏休みの過ごし方	これまでの授業での疑問点まとめ 自分のフランスへの興味をまとめる	60分

フランス語（会話）

福本 しのぶ

服飾文化学科 1年 後期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

Bonjour！挨拶はできるようになりました。自然にフランス語を聞き分けられるようになり、フランス語の発音も身についたことと思います。自然にフランス語で挨拶、自己紹介ができるようになり、もう少しフランス語で会話をしてみましょう。出席すればするほど力が定着し、フランス語がより理解できるようになり、フランス語の楽しさを実感できます。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、フランス旅行をする時に役立ち、使えるフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（外国語）必修であり、卒業認定に必要な科目です。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/活用を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

フランス語（総合）と共用

「Dis-moi tout!（ぜんぶ話して!）」（白水社）

参考文献

辞書が必要な方は「Le Dico 仏和辞典」（白水社）

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもあります。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行っています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランス語（会話）Iの復習 発音チェック	予習：シラバスを読む	30分
2回 2	発音の決まり	講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	発音チェック	講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	発音の決まり	講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	単語を増やそう【色、服、もの】	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	単語を増やそう【定冠詞、不定冠詞】	講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	動詞 -ir動詞	講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	動詞を増やそう	講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	動詞 不規則動詞	講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	動詞を増やそう	これまでの授業での疑問点まとめ 講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	フランスのクリスマスと年越し	講義メモ整理・発音練習	30分
12回 12	これまでの復習【単語整理】	講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	単語練習	講義メモ整理・発音練習	30分
14回 14	単語練習	講義メモ整理・発音練習	30分
15回 15	一年を振り返って	これまでの授業での疑問点まとめ 自分のフランスへの興味をまとめる	60分

中国語（総合）

盧 繁華

服飾文化学科 1年 前期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

中国語と日本語との構文上の大きな相違点を理解し構文の仕組みから学びはじめる。教材文や模範文を使って基礎文法文型を中心に勉強し読み書きを合わせて授業を進める。

到達目標（学修成果）

常用語彙と文法文型を操って中国語構文の組み立てができるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けるようにめざす。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめ及びセルフチェックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

参考文献

学校附属の図書館にある中国語辞書類や中国語に関連する書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	文の構成法の基礎	復習:中国語のスペリング練習	30分
2回 盧	文の構成法の基礎	復習:中国語のスペリング練習	30分
3回 盧	文的構成する成分: 1.形態素、2.単語	復習:中国語のスペリング練習	30分
4回 盧	3.フレーズ、4.短文	予習:教科書の第1課、第2課の読解内容	35分
5回 盧	文の分類: 1.表現機能による分類	復習:第1課、第2課の教科書ページ練習問題	40分
6回 盧	平叙、疑問文、命令文、感嘆文、	予習:第3課、第4課の読解内容	35分
7回 盧	2.構造による分類	復習:第3課、第4課の教科書ページの練習問題	40分
8回 盧	主述文、非主述文、	予習:第5課、第6課の読解内容	35分
9回 盧	3.述語の性質による分類	復習:第5課、第6課の教科書ページ練習問題	40分
10回 盧	動詞述語文、形容詞述語文、	予習:第7課、第8課の読解内容	35分
11回 盧	形容詞述語文、動詞述語文、	復習:第7課、第8課の教科書ページ練習問題	40分
12回 盧	文の基礎構文の活用	予習:第9課、第10課の読解内容	35分
13回 盧	文の基礎構文の応用	復習:第9課、第10課の教科書ページ練習問題	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	総合まとめの所定練習問題	50分
15回 盧	前期内容の総合まと	総合セルフチェック	60分

中国語（総合）

盧 繁華

服飾文化学科 1年 後期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

中国語総合 授業の前半は中国語の構文に必要な品詞、語彙と文法項目を確実に把握して、授業の後半は中国語の文章力を身につけるための中国語と日本語の双向翻訳のトレーニングを行って授業を進める。

到達目標（学修成果）

文法文型をしっかりと学ぶことを通して中国語文の構成や翻訳ができるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）】は【中国語（総合）】と併せて、卒業認定に必要な教養科目である。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現を出来るようにめざす。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

平常授業内と授業外の小テストを学期末でまとめて返却して期末総合テストに参考する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』 竹島金吾 著 発行所 金星堂

参考文献

学校の附属図書館にある中国語辞書類や中国語の書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、前学期に学んで内容を復習	復習：前期の既習文型文法の復習問題	45分
2回 盧	中国語の二大品詞、実詞と虚詞の概念	予習：第11課の読解練習	30分
3回 盧	実詞：名詞、動詞、形容詞、数量詞の文法的機能	復習：第11課の教科書ページ問題、所定問題	40分
4回 盧	虚詞：副詞、助詞、介詞、接続詞の修飾的作用	予習：第12課の読解練習	30分
5回 盧	品詞と文の関連性と働き	復習：第12課の教科書ページ問題、所定問題	40分
6回 盧	常用フレーズ	予習：第13課の読解練習	30分
7回 盧	構文機能その一、 1.主語、2.述語、3.目的語	復習：第13課の教科書ページ問題、所定問題	40分
8回 盧	4.定語、5.状語、6.補語	予習：第14課の読解練習	30分
9回 盧	構文機能その二、 1.特殊な動詞述語文	復習：第14課の教科書ページ問題、所定問題	40分
10回 盧	2.是……的の文	予習：第15課の読解練習	30分
11回 盧	3.疑問文と反語文	復習：第15課の教科書ページ問題、所定問題	40分
12回 盧	4.比較文	予習：第16課の読解練習	30分
13回 盧	複文の分類、その特徴	復習：第16課の教科書ページ問題、所定問題	40分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	後期内容の総合まとめ練習	50分
15回 盧	後期内容の総合まとめ	セルフチェック	50分

中国語（会話）

盧 繁華

服飾文化学科 1年 前期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

中国語発音の特徴とローマ字表記規則から学びはじめ、会話に必要な語彙や規範的なフレーズや基礎語句を併せて学ぶ。授業は聞く、話す、書くなどの形式で進める。

到達目標（学修成果）

正しい発音をマスターすることを到達目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語会話】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けることをめざす。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめと期末テストを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

参考文献

学校附属図書館にある中国語辞典類や中国語書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	中国語の発音のしくみ	復習：母音・子音の発音練習	30分
2回 盧	中国語の表記法、アルファベットの認識	復習：複合母音の発音練習	30分
3回 盧	中国語の読み方、スペリングの規則	復習：鼻母音の発音練習	30分
4回 盧	頻繁に使う日常挨拶の言葉、人称代名詞	予習：課本の第1課、第2課の音声練習	35分
5回 盧	名詞述語文（Aは何だ）	復習：第1課、第2課の教科書ページ聴解練習	40分
6回 盧	中国語の肯定文・否定文・疑問文	予習：課本の第3課、第4課の会話練習	35分
7回 盧	反復疑問文の文型特徴	復習：第3課、第4課の教科書ページ聴解練習	40分
8回 盧	数と年・月・日・時刻の言い方	予習：課本の第5課、第6課の会話練習	35分
9回 盧	動詞述語文（主語Aはどうする）	復習：第5課、第6課の教科書ページ聴解練習	40分
10回 盧	形容詞述語文（主語Aはどうだ）	予習：課本の第7課、第8課の会話練習	35分
11回 盧	存在を表わす文	復習：第7課、第8課の教科書ページ聴解練習	40分
12回 盧	場所や方向について言葉	予習：課本の第9課、第10課の会話練習	35分
13回 盧	主述述語文（AのBは何だ / AはBがどうだ）	復習：第9課、第10課の教科書ページ聴解練習	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	前期内容の総合まとめ聴解練習	50分
15回 盧	前期内容の総合まとめ	総合セルフチェック	60分

中国語（会話）

盧 繁華

服飾文化学科 1年 後期 選択必修（2単位 講義）

授業の方針・概要

常用語彙や文型などを増やしてリスニング・シャドーイングという練習方法で正しい発音を把握する。聞く力、会話力を身につけるために語彙とフレーズを暗誦するなどの方法で授業を進める。

到達目標（学修成果）

中国語ができる限り聞き取れる、話せる能力を伸ばすことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)】は【中国語(会話)】と併せて、卒業認定に必要な教養科目である。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現が出来ることをめざす。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

平常授業内と授業外で完成した課題を学期末に返却して期末の総合まとめとセルフチェックに参考にする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『改訂新版 中文課本 基礎編』 竹島金吾 著 発行所 金星堂

参考文献

学校附属図書館にある中国語辞書類や中国語書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	発音のウォーミングアップ、前期会話内容の復習	復習：母音子音の正確な発音のチェック	30分
2回 盧	常用介詞の用法	復習：既習会話、所定練習	30分
3回 盧	常用介詞の用法	予習：課本の第11課会話部分	35分
4回 盧	動詞連用文	復習：第11課の聴解練習問題	40分
5回 盧	動詞連用文	予習：課本の第12課会話部分	35分
6回 盧	動詞連用文	復習：第12課の聴解練習問題	40分
7回 盧	動作の時点や期間の言い回し	予習：課本の第13課会話部分	35分
8回 盧	動作の回数と目的語	復習：第13課の聴解練習問題	40分
9回 盧	動作の完了形	予習：課本の第14課会話部分	35分
10回 盧	動作の方向を示す	復習：第14課の聴解練習問題	40分
11回 盧	三大構造助詞の用法	予習：課本の第15課会話部分	35分
12回 盧	二重目的語	復習：第15課の聴解練習問題	40分
13回 盧	比較文の表現	復習：所定の読み物	45分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	所定のまとめ聴解問題	55分
15回 盧	後期内容のセルフチェック	セルフチェック	60分

日本語

宮下 利江、錢 陶緯

服飾文化学科 1年 前期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Iに関しては、初級文法の復習定着及びその運用能力の向上を目指す。また、読解と対話のタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての理解力と思考力を養成する。

到達目標 (学修成果)

初級文法・語彙表現を復習し定着を図りながら講義や発表を理解する力を高める。習得した文法事項を使い、自分の意見をまとめ、発表やディスカッションができるようになる。また、服飾に関連する専門用語についても、授業で理解し使えるよう確認の機会を適宜入れる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『JLPT文法N3ポイント&プラクティス』著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク

『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』著者：小野恵久子、遠藤千鶴、大久保伸枝、山中みどり 出版社：アルク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】スポーツクラブに入会する。専門用語	【予習】シラバスを読む。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】友達をお花見に誘う。専門用語 【読解・対話】1課「10代のうちに考えておくこと」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】友達とお花見を計画する。専門用語 【対話】1課「10代のうちに考えておくこと」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】電車が遅れる。専門用語 【読解・対話】2課「草は生きているか」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】これは雑誌の占いだ 専門用語 【読解・対話】2課「草は生きているか」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】留学した理由を話す。専門用語 【読解・対話】3課「仕事選び」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】インターネットでの買い物。専門用語 【読解・対話】3課「仕事選び」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】カメラを修理に出します。専門用語 【読解・対話】4課「障がいと私」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】カジュアルな表現と敬語。専門用語 【読解・対話】4課「障がいと私」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】友達に授業のお願いをする。専門用語 【読解・対話】5課「フィンランドの学校で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】友達を相撲に誘う。専門用語 【読解・対話】5課「フィンランドの学校で」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】レトルトカレーを温める。専門用語 【読解・対話】6課「マニュアル社会」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】職場で休みの希望を言う。専門用語 【読解・対話】6課「マニュアル社会」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】台風の準備をする。専門用語 【期末試験の説明・復習】	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

日本語

宮下 利江、錢 陶緯

服飾文化学科 1年 後期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

日本語Iに引き続き、大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語IIに関しては、専門用語の確認は継続し、その他中級文法の定着及びその運用能力の向上を目指す。また、対話、発表などのタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての思考力と表現力を養成する。

到達目標 (学修成果)

講義や発表を理解する力をさらに高める。習得した文法事項を使いこなし、表現力とともにレポートや論文を書くため、およびプレゼンテーションに必要な基礎的な日本語力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『JLPT文法N3ポイント&プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク

『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』 著者：小野恵久子、遠藤千鶴、大久保伸枝、山中みどり 出版社：アルク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】これは化粧品の宣伝だ。専門用語	【予習】シラバスを読む。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】電気屋でパソコンを買う。専門用語 【読解・対話】7課「遺伝子検査」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】お勤めの観光地を聞く。専門用語 【読解・対話】7課「遺伝子検査」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】接続詞と副詞。専門用語 【読解・対話】8課「コミュニケーションの日本語」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】法律相談所に電話をかける。専門用語 【読解・対話】8課「コミュニケーションの日本語」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】これは映画の広告だ。専門用語 【読解・対話】9課「丸裸の山で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】言葉の意味を調べる。専門用語。 【読解・対話】9課「丸裸の山で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】先生に年賀状を送る。専門用語 【読解・対話】10課「何かを選択すればゴールに近づく」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】車の事故があったそうだ。専門用語 【読解・対話】10課「何かを選択すればゴールに近づく」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】新聞社に私の意見を送る。専門用語 【読解・対話】12課「見通す力」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】スピーチをする。専門用語 【読解・対話】12課「見通す力」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】発表準備	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】部屋を借りる。専門用語 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】発表準備	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】健康診断を受ける。専門用語 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】発表準備	60分
14回 各自	【期末試験の説明・復習】 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】期末試験の準備	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

生涯学習概論

柄越 祥子

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

学芸員という専門職を目指すにあたり、「生涯学習」について、学習者の学びを援助、促進するという視点から教育的に考えていく授業です。その上で、生涯学習の現場に繋がっていくような、政策理念や制度の知識にも触れていきます。授業ではフィールドワークやグループディスカッションなども取り入れていきます。また、毎回授業の終わりに質問表の提出をしていただきます。

到達目標（学修成果）

生涯学習に関する歴史や様々な基礎的な理論と、現代の日本における生涯学習の現状を理解することを一つ目の目標とします。そして、そのような知識を基礎として、博物館やそこで働く学芸員の責務について考えられるようになることを二つ目の目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。国家資格「学芸員」を取得するための学芸員課程の必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内でのまとめ及び学内システムを利用して試験のフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

香川正弘・鈴木真理・永井健夫編『よくわかる生涯学習・改訂版』ミネルヴァ書房

参考文献

適宜授業で指示します。

オフィスアワー・研究室

後期 金曜日 教務課 ・ 土曜日 教務課

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 柄越	オリエンテーション・生涯学習とは何か（定義）	予習：シラバスに目を通しておく。	30分
2回 柄越	生涯学習の現代的意義（ディスカッション）	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の現代的意義の確認をする。	30分
3回 柄越	発達理論と生涯学習	復習：発達理論の確認をする。	30分
4回 柄越	生涯学習の学習内容	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の内容について確認する。	30分
5回 柄越	生涯学習の学習内容	復習：生涯学習の学びとはなにか、まとめる。	45分
6回 柄越	生涯学習の形態・方法	復習：生涯学習の方法について確認する。	30分
7回 柄越	生涯学習の社会的位相	復習：教科書の指摘した箇所を読んで、「解放」の生涯学習について確認する。	30分
8回 柄越	施設による生涯学習支援	復習：社会教育施設について確認し、フィールドワークの準備をする。	30分
9回 柄越	公共施設での生涯学習支援の実際（フィールドワーク）	予習：施設について資料を確認し、見学ポイントの整理をする。	30分
10回 柄越	公共施設での生涯学習支援の実際（フィールドワーク・グループワーク）	復習：フィールドワークレポート【1】の作成。	70分
11回 柄越	施設による生涯学習支援（グループワーク）	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の施設のまとめを行う。	30分
12回 柄越	民間による生涯学習支援	復習：教科書の指摘した箇所を読み、民間と行政の生涯学習支援の特徴について考える。	30分
13回 柄越	行政による生涯学習の振興	復習：フィールドワークレポート【2】の作成。	60分
14回 柄越	授業の振り返りとレポート課題のフィードバック	復習：これまでの授業内容を整理する。	90分
15回 柄越	まとめ	予習：小テストの見直し。復習：授業の総括。	60分

博物館概論

丸山 憲子

服飾文化学科 1年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

学芸員課程における博物館学最初の講義です。博物館について、学芸員について、博物館学について概説していきます。博物館をめぐる法制、機能、歴史等、博物館に関する基礎知識から、現代社会における博物館の存在意義や博物館の今日的課題について学習していきます。

到達目標(学修成果)

- ・博物館についての基礎的知識の習得
- ・博物館学の理論・方法論の理解と習得
- ・学芸員としての基本的知識の習得
- ・「博物館」をめぐる問題意識の向上

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(現代社会における博物館の概要・学芸員課程の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	博物館法等日本における博物館に関する法制について学習する。	予習: 博物館法を読んでおくこと。 復習: 関係法規を整理しておくこと	60分
3回 丸山	博物館法による登録博物館等の分類はじめ、様々な現代博物館の分類について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	博物館における資料について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	博物館の機能について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
6回 丸山	学芸員の職務について学習する。 これまでのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
7回 丸山	博物館の歴史を世界的観点から学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	日本における博物館の歴史 を学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
9回 丸山	日本における博物館の歴史 を学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	博物館学史 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
11回 丸山	博物館学史 を学習する。 博物館史・博物館学史のまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
12回 丸山	博物館経営について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
13回 丸山	博物館設立の流れや経緯について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
14回 丸山	現代博物館をめぐる社会的問題について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	現代博物館の課題と今後の展望について考察する。 総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分